

# 高校アーチェリー会報

第5号



全国高体連アーチェリー専門部

**1991年5月**



# 目 次

巻頭言 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 部長 松崎 洋右	2
新副部長紹介 越 田 稜	
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 委員長 清水 修	3
沿 革	4
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部役員名簿一覧	6
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部委員名簿一覧	7
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約	8
総務委員会 規程	11
競技委員会 規程	12
審判委員会 規程	13
強化委員会 規程	14
事務局 規程	15
アーチェリー専門部表彰 規程	16
アーチェリー専門部慶弔 規程	17
全国高等学校体育連盟ア専門部・全日本ア連盟 登録届用紙の流れの順序について	18
登録届記入法	19
資料№1 指定都道府県番号表	20
全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部会員登録届用紙	21
学校登録番号一覧表	22
学校登録数・会員登録数等 一覧表	32
'89ジュニアチーム海外派遣 強化委員 朝倉 基夫	33
学校紹介 福岡県立柏陵高校	35
福岡県立折尾高校	38
選手権大会 栄光の歩み	41
選抜大会 栄光の歩み	44
日本高校記録	45
大会開催地・開催順	46
記録収集について	47
高校公認記録規程	50
記録承認申請書	52
服装規定について	54
大会実施要項に記載すべき内容	57
大会プログラム作成の基準について	59
口座番号・幹旋物資についての問合わせ先	65

# 巻 頭 言

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

部 長 松 崎 洋 右



新緑の輝く季節を迎えて、全国高体連アーチェリー専門部関係各位の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

わが専門部も、昭和37年に高校生を対象とした近畿地区総合体育大会を開して以来30年目を迎えようとしております。この間、歴代関係各位御尽瘁により、組

織的にも充実し、また活動面においても優れた実績を挙げつつ、全国選手権大会も24回を数えるに至りました。大会役員及び関係者の皆様方の献身的なご努力によって、今日の隆盛の基礎が築かれました。今日に至るまでの諸先生方のご尽力に対しまして、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第でございます。

一昨年11月、文部省の『保健体育審議会』が「21世紀に向けたスポーツの振興方策について」の答申をしました。そのなかで、学校における体育・スポーツの充実については、社会指導者の充実、特色ある運動部活動の促進、大学における「コーチ学」の確立などを提言しております。

もとより、体育スポーツの振興の基本は、優れた指導者と、充実した施設設備が必要です。しかしアーチェリー部を取り巻く環境施設はまだまだ不十分な現状がありますが、とりわけ有為な指導者の育成こそ、私どもに課せられた緊要の課題であります。

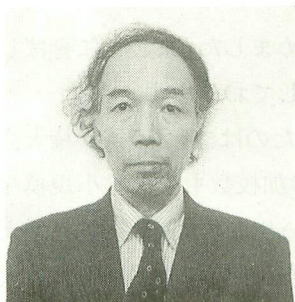
「千里の馬は常にあれども、伯楽は常にはあらず」という文章があります。伯楽とは馬を鑑定するに巧みである人で、転じて人物を見抜く眼力のある人のことをいいますが、千里を走る名馬がいても、それを見出す名伯楽がいなければ、折角の名馬も人に知られず、才能を発揮することなく埋もれてしまいます。

全国の優れた素質ある人材を発掘し、素晴らしい「千里の駒」を育てるため大いに奮闘して戴きたいと思えます。

末筆になりましたが、多年に渡りご活躍いただいた、専門委員長の清本 修先生が退職されました。清本先生におかれましては、全国高校アーチェリー競技発展のため、尽くされた功績は筆舌にに表せないものがあり、今日までのご尽力に対してあらためて敬意を称したいと思えます。本当に長い間御苦勞様でした。

## 新副部長紹介

### 越 田 稜



(東京都高体連ア専門部長)

学習院高等科長

全国高等学校ユネスコ活動指導者協議会理事

## 委員長あいさつ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

委員長 清 本 修

全国高体連アーチェリー専門部も本格的に軌道にのりはじめました。まことに喜ばしい限りです。これもひとえに、皆様方のおかげだと厚く感謝いたしております。

思えば、私が最初にアーチェリーの大会に監督として参加したのは、第2回選手権大会だったかと思います。それからもう22年が過ぎました。その頃は参加校数も少なく小規模な活動でしたが、今では加盟校も300校、登録人数5千人を超えてまいりました。今後益々増えていくことでしょう。また、ソウルオリンピックに高校生代表を送るまでになりました。大変な発展をしたものだと思います。

私自身、運営組織の確立や専門部設置県の増加を目標に、役員として10有余年尽力してまいりました。その間、全国選抜大会の創設、全国高体連加盟実現、そしてインターハイの同時開催も現実化してまいりました。苦労も多々ありましたが、今は感慨に耐えません。

一方、競技面でも以前と比べると記録の更新に目覚ましいものがあります。しかし、弓具に頼っているところもあります。平成5年度からは大会がグラウンドラウンドに変わりますので、今後は精神の鍛練も非常に重要になってきます。また、高校生といえども舞台は世界に移っていきますし、現に平成3年7月には、第1回世界ジュニア選手権大会がノルウェーで開催されることになり、今後は隔年ごとに開催され、日本でも高校生の派遣が決まっています。ますます世界に通用する人格と技能・体力を兼ね備える努力が必要となってきます。

各高等学校におかれましても、これらを念頭におき、監督と選手が一体となって、より一層の精進を重ね、益々前進していかがえますことを期待しておりますとともに、我々専門部の組織も努力し、斬新な考えで運営していかなければ今後の発展は有り得ないと思います。

## 沿 革

昭和13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカから帰国した、菅 重義氏により日本にアーチェリーが紹介される。</li> </ul>
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本洋弓会が設立される。(愛好者が増加傾向)</li> </ul>
昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本アーチェリー協会設立 (学校への活動用具貸与による援助始まる)</li> </ul>
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を対象とした近畿総合体育大会が、全国で初めて開催される。</li> </ul>
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回全国高校アーチェリー競技会開催(東大阪市・旧布施市)</li> </ul>
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回全国高校アーチェリー競技会開催(静岡県)</li> </ul>
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会の名称変更「全国高等学校アーチェリー選手権大会」以後より今日に至る。</li> </ul>
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手権参加規定変更・任意参加を各都道府県で2校以内と前年度優勝校に参加を制限。</li> <li>・組織を「全国アーチェリー連盟高校部」に改称</li> </ul>
昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手権参加規定変更・各都道府県の代表校制に変更、男女1校と前年度優勝校に改正。</li> <li>・優勝碑「ダイアナ」(狩猟の女神：ギリシャ神話)が新たに新調される。(川上源一氏と滋賀県協会の格別の好意により、ブロンズ像制定。) 【制作者：小谷 謙氏・日展会員・京都府在住】</li> </ul>
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織のより一層の明確化が図られる。</li> <li>・木村好治氏(青森県アーチェリー協会・元名久井農業高校校長)を初代高校部長に選出。</li> <li>・改定組織関係役員決定。</li> </ul>
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手権参加規定変更・団体出場校以外の学校より、個人選手の参加を認める。</li> </ul>
昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催基準・運営細則に関する全面的な見直し、改正に着手。(協会主導の運営から、高校サイドへの移行に伴い)</li> </ul>
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部長、理事長制及び各都道府県ブロックの実情に即した常任理事や代表理事制を取り入れる。初代理事長に中田 昇氏を選出。</li> <li>・全国大会記録集創刊</li> </ul>
昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高体連加盟に向け、高体連旗・表彰等の使用申請の働き掛けが始まる。</li> </ul>
昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高体連へ加盟申請する。</li> <li>・中田 昇氏 二代目高校部長に選出。</li> <li>・総務・競技・強化・事務局の4部門を設定し、積極的な組織運営策の取組が始まる。</li> </ul>
昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国選手権大会開催方針変更・大会経費内部負担の軽減・大会運営への地元高校への協力要請</li> <li>・専門部設置県の増加を目指し、各地で運動広がる。</li> </ul>

昭和57年 昭和58年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小笠原朋憲氏三代目高校部長に選出。高体連加盟申請継続</li> <li>・全国高体連正式加盟への手順決定される。</li> <li>・第1回全国高校選抜大会開催（愛知・森林公園）</li> </ul>
昭和59年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎準加盟として競技種目を扱う。</li> <li>◎名義共催と全国総体開催期間中の同時開催禁止。</li> <li>◎加盟については、おおむね30都道府県で高体連加盟が審議条件または、40都道府県に於いて 実質的な活動の場合。</li> </ul>
昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織拡充と事業実施内容等の統一化に向けて運動強化。</li> <li>・ジュニア選手の強化並びに全米選手権大会への派遣事業始まる。</li> </ul>
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清本 修氏理事長に選出。</li> <li>・学校登録指定番号・ランキング制度開始。</li> <li>・会報の発刊始まる。</li> </ul>
昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーチェリー専門部設置に向けて、各都道府県高体連事務局への意向調査、協力要請を行う。</li> </ul>
平成元年 平成2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高体連への加盟承認される。（5月）</li> <li>・新組織による常任委員会開催。（伊豆下田市）</li> <li>・全国高体連専門部規約審議、原案決定。</li> <li>・里見勝人氏（淑徳高校校長）四代目高校部長に選出。副部長に松崎洋右氏（大宮開成高）猪飼 彰氏（愛工大名電高）の2名を選出。</li> <li>・清本 修氏（可部高校）初代専門委員長に選出。</li> <li>・中込恵子（山梨・甲府第一高）オリンピック代表へ。</li> <li>・五代目高校部長 松崎洋右氏（大宮開成高）を選出</li> <li>・副部長に越田 稜氏（学習院高）を選出。清水 修氏退職にともない、4月より藪内徹氏（伊吹高校）が専門委員長を代行する。</li> </ul>



# 全国高等学校体育連盟ア一チエリ一専門部役員名簿

(1989~1990) 平成3年2月7日現在

役職名	氏名	所在地	学校名	電話	F A X
部長	松崎 洋右	〒330 大宮市堀之内1-615	大宮開成高	0486-41-7161	048-647-8881
副部长	猪飼 彰	西地区 〒464 名古屋市千種区若水3-2-12	愛知工業大学名電高	052-721-0311	052-711-4620
	越田 稔	東地区 〒171 豊島区目白1-5-1	学習院高	03-3986-0221	03-5992-1016
顧問	木村 好治	〒039-15青森県三戸郡五戸町天満後44-6	元全国高校部長	0178-62-3223	
	小笠原朋憲	〒153 目黒区駒場1-35-32	元全国高校部長	03-467-2130	03-467-2138
	里見 達人	〒174 板橋区前野町5-14-1	前全国高校部長	03-969-7411	
委員長	清本 修	中国 〒731-02広島市安佐北区可部3-15-26	可部高	082-814-2032	082-815-4781
副委員長	総務◎ 田中 康彦	東海 〒465 名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41	愛知高	052-721-1521	052-723-2254
	競技◎ 籾内 徹	近畿 〒521-02滋賀県坂田郡山東町朝日302	伊吹高	0749-55-2350	0749-55-2778
	審判◎ 坂本 憲昭	中国 〒744 下松市大字河内114	下松高	0833-41-0157	
	強化◎ 嶋守 英敏	東北 〒034 十和田市相坂字高清水78	三本木農業高	01762-3-5341	
常任委員	総務 日野正晴	東北 〒997-03東田川郡樺引町大字山添字文栄38番地	山添高	0235-57-2100	0235-57-2101
	総務 宮崎 利悞	関東 〒330 大宮市堀之内1-615	大宮開成高	0486-41-7161	048-647-8881
	総務 吉田 五衛	北信越 〒910 福井市御幸2-25-8	高志高	0776-24-5175	0776-24-5177
	競技 上原喜八郎	関東 〒174 板橋区前野町5-14-1	淑徳高	03-969-7411	
	競技 横山 幹夫	北信越 〒916 鯖江市熊田町第10号7	丹南高	0778-62-2112	
	競技 水野慎一郎	東海 〒464 名古屋市千種区若水3-2-12	愛知工業大学名電高	052-721-0311	052-711-4620
	競技 神谷 育孝	近畿 〒602 京都市上京区今出川通寺町西入	同志社女子高	075-251-4305	
	競技 住友 和男	四国 〒770 徳島市北矢三町2-1-1	徳島工業高	0886-31-4185	
	競技 大塚 敬輔	九州 〒856 大村市森園町1079-3	大村工業高	09575-2-3773	
	審判 西出 元	北海道 〒078 旭川西神楽3線5号	旭川工業高	0166-65-4115	
	審判 水上 英彦	東海 〒416 富士市平垣町1-1	富士見高	0545-61-0250	0545-63-5040
	審判 河野 真一	近畿 〒596 岸和田市額原町	久米田高	0724-43-6651	
	強化 朝倉 基夫	北海道 〒061-21札幌市南区石山1条2丁目15	札幌啓北商業高	011-591-2021	011-591-2023
	強化 後藤 明男	関東 〒324-06栃木県那須郡馬頭町馬頭1299-2	馬頭高	02879-2-2009	
強化 吉成 謙	関東 〒400 甲府市美咲2-13-44	甲府第一高	0552-53-3525		
事務局	局長 雨宮建次郎	関東 〒153 目黒区駒場1-35-32	東京工業高	03-467-2130	03-467-2138
	局員 菊池 直登	関東 〒194 町田市玉川学園6-1-1	玉川学園高	0427-28-3503	0427-28-3588
	局員 小坂 純彰	〒171 豊島区目白1-5-1	学習院高	03-986-0221	03-5992-1016
	局員 渡辺 忠雄	関東 〒153 目黒区駒場1-35-32	東京工業高	03-467-2130	03-467-2138
監事	若林 武正	関東 〒235 横浜市磯子区岡村2-4-1	横浜学園高	045-751-6841	

# 全国高等学校体育連盟ア—チェリ—専門部委員名簿

平成3年2月7日現在

	都道府県名	氏名	学校名	所在地	電話	FAX
1	北海道	西出元	県立旭川工業高	078 旭川市西神楽3線5号	0166-65-4115	0166-65-4127
2	青森	嶋守英敏	県立三本木農業高	034 十和田相坂字高清水78	0176-23-5341	0176-23-5341
3	岩手	佐藤邦明	県立盛岡工業高	020 紫波郡南村大字羽場字松崎18	0196-38-3141	0196-38-8134
4	宮城	阿部武	南郷高	989-42 遠田郡南郷町大柳字神原7		
5	秋田					
6	山形	日野正晴	県立山添高	997-03 東田川郡櫛引町大字山添字文栄38	0235-57-2100	0235-57-2101
7	福島					
8	茨城					
9	栃木	後藤明男	県立馬頭高	324-06 那須郡馬頭町馬頭1299-2	02879-2-2009	
10	群馬	佐藤功	県立沼田女子高	378 沼田市東倉内町753-3	0278-22-4495	
11	埼玉	宮崎利帳	大宮開成高	330 大宮市堀之内1-615	0486-41-7161	0486-47-8881
12	千葉	西尾顕	県立京葉高	290 市原市島野222	0436-22-2196	
13	東京	雨宮健次郎	東京工業高	153 目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2138
14	神奈川	若林武正	横浜学園高	235 横浜市磯子区岡村2-4-1	045-751-0941	
15	山梨	吉成謙	県立甲府第一高	400 甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	
16	新潟	坂西精一	県立長岡工業高	940 長岡市幸町2-7-70	0258-36-4510	
17	長野	篠井正信	県立篠ノ井高	388 長野市篠ノ井布施高田1161-2	0262-92-0066	
18	富山					
19	石川	中村司	県立金沢向陽高	920 金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	
20	福井	横山幹夫	県立丹南高	916 鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	
21	静岡	水上英彦	富士見高	416 富士市平垣町1-1	0545-61-0250	0545-63-5040
22	愛知	中山孝義	愛知女子高	451 名古屋市西区菊井2-24-3	052-571-8422	052-561-0713
23	三重	加藤多	松阪女子高	515 松阪市久保町梅村3番地	0598-29-4151	0598-29-6744
24	岐阜	福田やよい	聖マリア女学院	501-25 岐阜市福室201	0582-29-1102	
25	滋賀	富永雅博	県立虎姫高	529-01 東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055	0749-73-2967
26	京都	神谷育孝	同志社女子高	602 京都市上京区今出川通寺町西入	075-251-4305	075-251-4308
27	大阪	河野真一	府立久米田高	596 岸和田市額原町	0724-43-6651	0724-43-0307
28	兵庫	杉原雄二郎	舞子高	655 神戸市垂水区学が丘3-2	078-783-5151	078-783-5152
29	奈良	鞍本哲夫	県立奈良高	630 奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30	和歌山	宮崎一雄	県立貴志川高	640-04 那須郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
31	鳥取	山根俊一	県立倉吉農業高	682 倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1341
32	島根	田中明	県立松江東高	690 松江市西川津中宮尾510	0852-27-3700	0852-27-3703
33	岡山	後藤浩	新見女子高	718 新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8988
34	広島	清本修	県立可部高	737-02 広島市安佐北区可部3-15-26	082-814-2032	082-815-4781
35	山口	坂本憲昭	下松高	744 下松市大字河内114	0833-41-0157	
36	香川					
37	徳島	住友和男	県立徳島工業高	770 徳島市北矢三町2-1-1	0886-31-4185	0886-31-4185
38	愛媛	山崎香代	愛媛女子高	798 宇和島市伊吹町馬場421		
39						
40	福岡	岡部美義男	県立折尾高	807 北九州市八幡西区大膳2-23-1	093-691-3561	
41	佐賀	長谷川紘之	県立唐津農業高	847 唐津市神田字堤2629	0952-62-1331	
42	長崎	大塚敬輔	県立大村工業高	856 大村市森園1079-3	0957-52-3773	0957-52-3773
43	熊本	友口勝	有明高	864 荒尾市増永字長浦2200	0968-63-0958	0968-64-1366
44	大分	堤幸祐	別府女子短大付属高	874-01 別府市大字野田78	0977-66-5918	0977-67-8133
45	宮崎					
46	鹿児島	田中満	県立鹿児島工業高	890 鹿児島市草牟田2-57-1	0992-22-9205	
47	沖縄	島袋盛範	県立宜野湾高	901-22 宜野湾市真志喜268	09889-7-1020	

# 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約

## 第 1 章 名 称

第1条 本部は全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部と称する。

第2条 本部の事務局は部長指定の学校に置く。

## 第 2 章 目 的

第3条 本部は全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」と称する）規約第3条に基づき、高等学校におけるアーチェリー競技の健全な育成発展を図ることを目的とする。

## 第 3 章 事 業

第4条 本部は第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国大会開催に関する事項の審議並びに執行。
- (2) アーチェリーの普及並びに競技力の向上に関する事項。
- (3) アーチェリーの講習及び調査研究。
- (4) 関係団体との連絡。
- (5) その他目的達成に必要な事項。

## 第 4 章 組 織

第5条 本部は全国高体連規約第6条に基づき、各都道府県アーチェリー専門部をもって組織する。

## 第 5 章 役 員

第6条 本部は次の役員を置く。

1. 部 長 1名
  2. 副部長 若干名
  3. 委員長 1名
  4. 副委員長 若干名
  5. 常任委員 9名+若干名
  6. 委 員 各都道府県より1名
  7. 監 事 2名
  8. 事務局長 1名
- (2) 本部は顧問を置くことができる。

第7条 役員任期は2ヶ年とする。但し、再任は妨げない。補欠によって就任した役員

の任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本部の役員は校長，教諭より選出する。但し、顧問を除く。

- (1) 部長及び副部長は委員の推薦により、全国高体連理事会の承認を得て、会長これを委嘱する。
- (1) 常任委員は全国各地域(北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州)の部会において選出された1名と若干名の推薦者を部長これを委嘱する。
- (3) 委員は各都道府県高体連アーチェリー専門部より1名を選出する。
- (4) 委員長及び副委員長並びに事務局長は常任委員会にて選出し、委員会にて承認する。
- (5) 監事は委員会で選出する。
- (6) 顧問は委員会で推挙することができる。

第9条 役員の任務及び構成は次のとおりとする。

- (1) 部長は本部を代表し、会務を統轄し全国高体連理事会に出席する。  
副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 常任委員は常任委員会を構成し、本部の重要事項を企画立案するとともに委員会の承認を得てその執行に当たる。
- (3) 委員は委員会を構成し、本部の重要事項を審議決定する。
- (4) 監事は本部の会計を監査し、その結果を委員会に報告する。
- (5) 顧問は本部の組織運営について委員会並びに常任委員会の諮問に応ずる。

## 第 6 章 会 議

第10条 委員会は年1回部長が招集し、次の事項を審議決定する。但し、部長が必要と認められた場合または委員の3/5以上から会議の目的事項を示して請求があった場合は、速やかに委員会を招集しなければならない。

- (1) 会議では次の事項を審議する。
  - ア. 事業報告並びに計画
  - イ. 決算並びに予算
  - ウ. 役員の選出
  - エ. 規約の改正
  - オ. その他の重要事項

第11条 常任委員会は必要に応じ、部長がこれを招集する。常任委員は常任委員会の開催を要請できる。

第12条 委員会及び常任委員会は総員の $\frac{1}{2}$ 以上(委任状を含む)の出席がなければ開くことができない。全ての会議は部長が議長となる。

#### 第 7 章 専門委員会

第13条 本部の事業の遂行のため、各種の専門委員会を設けることができる。

- (1) 専門委員会の名称・目的及び委員は委員会の決議を経て部長が定める。
- (2) 専門委員会の規定は別にこれを定める。

#### 第 8 章 事務局

第14条 本部に事務局をおく。事務局の規定は別にこれを定める。

#### 第 9 章 規約の変更

第15条 本部の規約は委員会において、委員の $\frac{2}{3}$ 以上の同意を得て変更することができる。

#### 第 10 章 会計

第16条 本部の経費は補助金・助成金その他の収入によってこれをあてる。

#### 第 11 章 付 則

第17条 規約の施行については必要な事項は委員会の議決を経て部長が定める。

第18条 本規約は平成1年2月11日より施行する。

# 総務委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき総務委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を行なう。

1. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第4条の事業に必要な資金を調達すること。
2. 優秀選手の表彰に関すること。
3. 関係功労者の表彰に関すること。
4. 規約改正に関すること。
5. 機関誌の発行に関すること。
6. その他部長が指定する事項を処理すること。

第3条 委員会は次の委員をもって組織する。

1. 委員会において推薦された若干名の委員。
2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

# 競 技 委 員 会 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき競技委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 競技会開催に関する基本方針を確立すること。
2. 全国高等学校アーチェリー選手権大会および選抜大会の実施方法その他の重要事項を審議すること。
3. 本専門部関係の競技会開催の調整をはかること。
4. 各競技会の記録整理および認定保存をはかること。
5. その他競技に関する必要事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じ臨時の委員を置くことができる。

1. 専門部部長が常任委員会の中から指名する若干名の委員。
2. 全国専門委員長会で推薦された若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

# 審判委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき審判委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 競技会への審判員派遣に関する基本方針を確立すること。
2. 審判員養成および研修事業に関すること。
3. 審判資格修得および更新に関すること。
4. その他、競技規則および審判に関する必要な事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じ臨時の委員を置くことができる。

1. 全国9地区(ブロック)の審判委員会委員長および専門部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
2. 全国専門委員長会で推薦された若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。



# 強化委員会規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条にもとづき強化委員会(以下委員会と称する)を設ける。

第2条 委員会は次の事業を処理する。

1. 強化ならびに普及活動に関する計画立案と、その推薦および指導に関すること。
2. 国際競技等に代表選手を派遣すること。
3. 指導者の養成および活動に関すること。
4. その他、強化、普及に関する必要な事項。

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

1. 委員会において推薦された若干名の委員。
2. 部長が常任委員の中から指名した若干名の委員。

第4条 委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。

第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。

第6条 委員長は委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

第10条 委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、委員会の承認を受ける。

第11条 緊急事項で委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

# 事 務 局 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第14条にもとづき事務局に関する規定を定める。

第2条 事務局は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟との連絡等に関する事。
2. 各大会における関係機関への連絡等に関する事。
3. 全日本アーチェリー連盟と各都道府県アーチェリー協会(連盟)との連絡等に関する事。
4. 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部との連絡に関する事。
5. 会員登録に関する事。
6. その他部長が指定する事項を処理する。

第3条 事務局に次の職員を置く。

事務局長 1名 事務員 若干名

第4条 事務局長は、事務局を統轄し、事務局員を指導監督する。

第5条 事務局員の数並びにその任命は常任委員会の承認を得て事務局長が行う。

第6条 事務局員は、事務局長の命を受け、本部会の事務を処理する。

第7条 事務局長の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

# アーチェリー専門部表彰規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下専門部と称する）では、表彰に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し表彰する。

第2条 この規程は全国高等学校体育連盟アーチェリー競技の普及振興に功績があった者等に対し表彰を行うとともに、全国高等学校体育連盟表彰規程の被表彰者の推薦母体に資することを目的とする。

第3条 前条に定める被候補は、次の各号から推薦するものとする。

1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
3. その他。

第4条 表彰者の選考は部長・副部長・委員長・副委員長・事務局長があたり、常任委員会の承認を受けるものとする。

第5条 表彰は、常任委員会または全国高等学校アーチェリー選手権大会において行う。

第6条 本規程表彰者推薦のための基準は次の通りとし、重複表彰はしない。

1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
  - 1) 専門部役員については、3期（6年）以上とする。
2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
  - 1) 専門委員長については6年以上とする。
3. その他、特に功績のあった者。

第7条 推薦手続きは毎年4月中旬・10月中旬までに本専門部事務局宛に提出する。

第8条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

平成3年7月25日一部改正。

## アーチェリー専門部慶弔規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「専門部」と称する）では、慶弔に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し敬意を表わすことができる。

第2条 その基準と範囲は次のとおりとする。

1) 慶事に関して

ア) 功績者および関係役員等が、他からの栄誉を称えられた場合。

2) 弔事に関して

ア) 功績者および関係役員等に不幸が生じた場合。

3) 範囲

ア) 記念品または弔慰金等およびこれらの電文とする。

第3条 その他、この規程に定めない特別の場合については、常任委員会の承認を得て敬意を表すことができる。

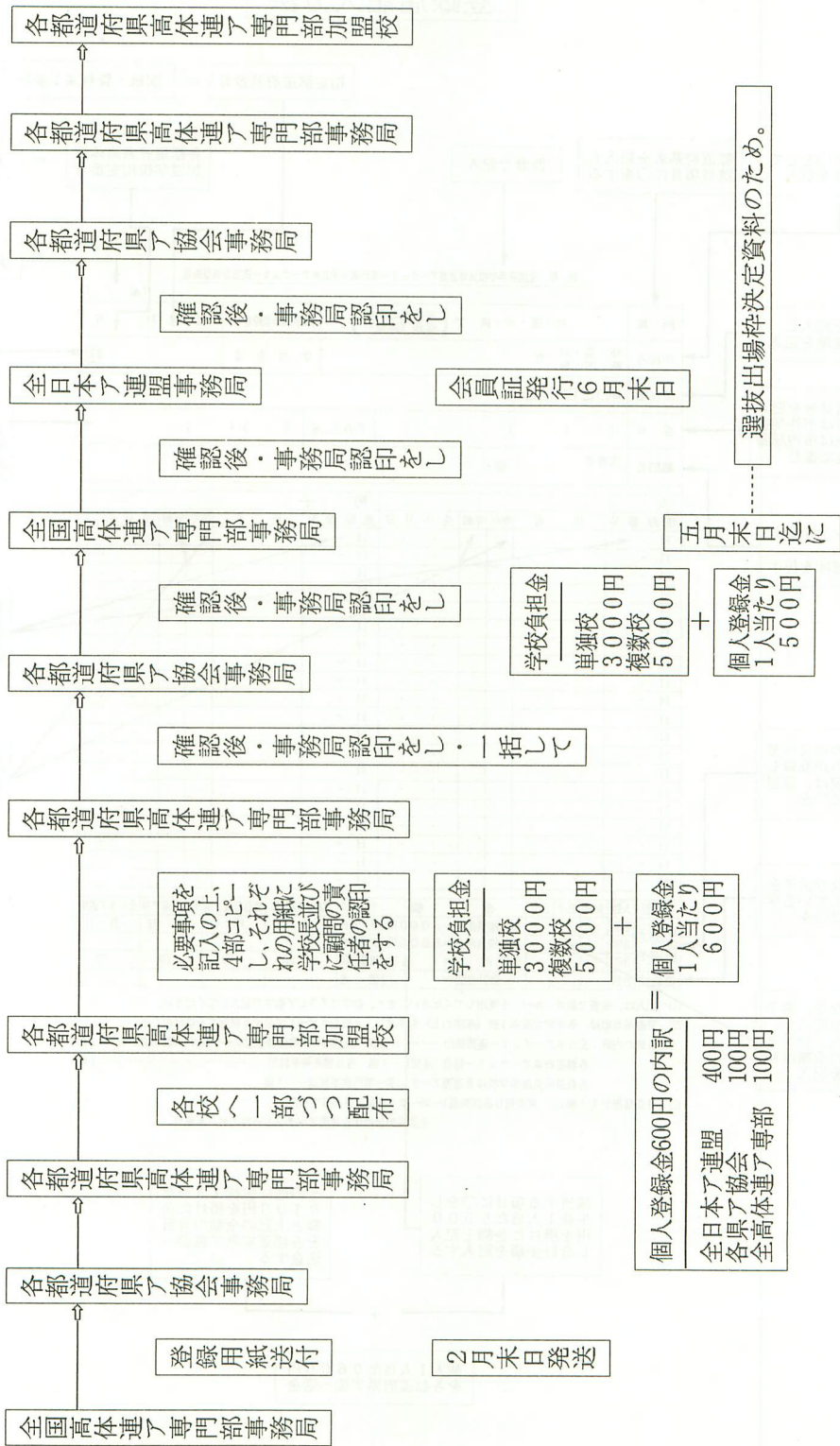
ただし、緊急の場合は部長がこれを支出し、常任委員会に報告・承認を得るものとする。

第4条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は、平成2年4月1日より施行する。

全国高等学校体育連盟ア専門部・全日本ア連盟 登録届用紙の流れの順序について

平成2年度用



学校負担金	
単独校	3000円
複教校	5000円
+	
個人登録金	
1人当たり	500円

学校負担金	
単独校	3000円
複教校	5000円
+	
個人登録金	
1人当たり	600円

個人登録金600円の内訳	
全日本ア連盟	400円
各都道府県ア協会	100円
全国高体連ア専門部	100円

# 登録届記入方法

19年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

指定都道府県番号 = 別紙・資料A1参照

各都道府県高体連加盟学校指定番号 = 別紙・資料A2参照

1/6, 1/2, 2/3等

当該項目に○をして正式学校名を記入

都道府県名を記入し当該項目に○をする

西暦で記入

郵便番号を記入し正確な所在地を記入

学校の電話番号を記入 ( ) 内は市外局番 ( ) 内は市内局番 ( ) の後に番号

顧問の先生方全員の氏名を記入 代表者は認印を押す

女子生徒のみ又は男子生徒のみが登録している学校は、該当する項目に○を

女子生徒及び男子生徒が登録している学校の場合に○を

各学年、女子、男子別に人数を記入し、合計を記入。合計と合計の交わる欄は総合計人数を記入

所属 都・道・府・県 ア 【高体連専門部】 加盟団体登録番号 第 H 号

学校名 都・道・府 立 学校長名 印

所在地 ○□□□-□□

番号 ( ) ( ) FAX. 局 ( ) ( )

顧問名 代表者 ○

女 子					男 子				
登録番号	氏名	学年	年齢	生年月日	登録番号	氏名	学年	年齢	生年月日
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.
H-				.	H-				.

種別	人数	女子	男子	合計	金 額	チェック	県高体連A専部	都道府県A協	全高体連A部	全日本A連盟	
単独校	女子	1年			単独校負担金=3000円	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
複数校	男子	2年			複数校負担金=5000円 500円×人= 円	担当者名					
		3年				確認認印					
		合計				合計金額= 円	円 備考				

(1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。  
 (2) 登録届用紙は、各学校で原本1部（朱印の上）を作成し、4部をコピーして必ず5部全てを送付のこと。  
 5部の内訳：全日本アーチェリー連盟提出……………1部 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部用……………1部  
 各都道府県アーチェリー協会（連盟）……………1部 各加盟高等学校用……………1部  
 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局……………1部  
 (3) 登録届提出先：〒153 東京都目黒区駒場1-35-32 東京工業高等学校内  
 「全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部」事務局

該当する項目に○をし  
生徒1人当たり500  
円を掛けた金額を記入  
し合計金額を記入する

その他に生徒1人当  
たり100円を掛けた金  
額と上記の金額の合計  
を各都道府県A協会へ  
送金する

+ 個人1人当たり600円を各都道府県A協へ送金

- 20 -

資料№.1 指定都道府県番号表

指 都 道 府 番	定 道 府 県 号	都道府県名	指 都 道 府 番	定 道 府 県 号	都道府県名	指 都 道 府 番	定 道 府 県 号	都道府県名
1		北海道	17		長野	33		岡山
2		青森	18		富山	34		広島
3		岩手	19		石川	35		山口
4		宮城	20		福井	36		香川
5		秋田	21		静岡	37		徳島
6		山形	22		愛知	38		愛媛
7		福島	23		三重	39		高知
8		茨城	24		岐阜	40		福岡
9		栃木	25		滋賀	41		佐賀
10		群馬	26		京都	42		長崎
11		埼玉	27		大阪	43		熊本
12		千葉	28		兵庫	44		大分
13		東京	29		奈良	45		宮崎
14		神奈川	30		和歌山	46		鹿児島
15		山梨	31		鳥取	47		沖縄
16		新潟	32		島根			





# '91 高ア連推薦物資斡旋一括購入申込書

'91年4月1日より

学 校 名 電 話 (市外局番)	学校名													☎ (       )			
学 校 所 在 地														〒       -			
顧問名(申込責任者)	Ⓜ																
品 目	購 入 申 込 サ イ ズ																
審 判 用 帽 子 1,800円	(cm)			S (54cm)			M (56cm)			L (58cm)			L L (60cm)			(cm)	
審 判 用 シ ャ ツ 男性用半袖 4,500円				S			M			L			O				
ス ラ ッ ク ス 8,000円 (特記事項) 例: 太もも	67cm	70cm	73cm	76cm	79cm	82cm	85cm	88cm	91cm	94cm	98cm	102cm	105cm	110cm	115cm		
ロ ー ル ・ ス カ ー ト 3,000円	cm		58cm		60cm		63cm		66cm		69cm		72cm		75cm		cm
シ ョ ー ト パ ン ツ 2,800円																	
ア ー チ ョ ー リ ー シ ュ ー ズ (22~28cm) 7,000円	22.0cm	22.5cm	23.0cm	23.5cm	24.0cm	24.5cm	25.0cm	25.5cm	26.0cm	26.5cm	27.0cm	27.5cm	28.0cm				
検 定 標 的 紙 (梱包単位枚数)	40 C M (100枚を発注単位) 12,000円					80 C M (100枚を発注単位) 27,000円					122 C M (25枚を発注単位) 32,500円						
購 入 品 目	内					訳					小 計					合 計 金 額	
審 判 用 帽 子	1,800円×					個											
審 判 用 半 袖 シ ャ ツ	4,500円×					枚											
ス ラ ッ ク ス (オールシーズン)	8,000円×					着											
ス カ ー ト	3,000円×					着											
シ ョ ー ト パ ン ツ	2,800円×					着											
シ ュ ー ズ	7,000円×					足											
標 的 紙 40cm×100枚	12,000円×					梱包											
標 的 紙 80cm×100枚	27,000円×					梱包											
標 的 紙 122cm×25枚	32,500円×					梱包											
通 信 連 絡 欄																	

- 備 考 欄
- 1) 全国高校アーチェリー連盟の加盟校が注文する場合には、上記の特別価格となります。  
なお、申し込み物品は、学校申し込み責任者宛に直接送付されます。
  - 2) 通常申し込み注文後2週間で発送致します。電話での注文はご遠慮下さい。
  - 3) サイズ表にないサイズは別注となり受注後約1ヶ月かかります。

申 込 先    〒491 愛知県一宮市丹陽町九日市場字下田11番地2    ミズノ株式会社名古屋営業所  
第一事業部 川西雄二・中島康善    TEL (0586) 77-8161    FAX (0586) 77-8117

振 込 先    東海銀行 覚王山支店(264) 普通預金No.161-215 全国高校アーチェリー代表 田中康彦  
支 払 期 日    物品到着後30日以内にお振り込み下さい。尚、学校名でお振り込み願います。

◎消費税は別途頂きますので悪しからずご了承下さいませ。



19 年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟会員登録届

( 年 / 月 )

所属	都・道・府・県 ア (高体連専門部 協会(連盟))	加盟団体登録番号	第 H 号
学校名	都・道・府 立 県・市・私 立	学 校 長 名	印
所在地	〒□□□-□□		
番 号	[ ] ( )	FAX. 宛	[ ] ( )
顧問名	代表者 印 . . . . .		

女 子					男 子				
登録番号	氏 名	学年	年齢	生 年 月 日	登録番号	氏 名	学年	年齢	生 年 月 日
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .
H -				. .	H -				. .

種 別	人数	女子	男子	合計	金 額	チェック	県高体連ア専部	都道府県ア協	全高体連ア部	全日本ア連盟
単 独 校	女子 男子	1年			単独校負担金 = 3000円	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日
		2年				複数校負担金 = 5000円	担当者名			
		3年			500円 × 人 = 円		確認認印	印	印	印
複数校	合計				合計金額 = 円	備 考				

- ★(1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。
- (2) 登録届用紙は、各学校で原本1部（朱印の上）を作成し、4部をコピーして必ず5部全てを送付のこと。  
5部の内訳：全日本アーチェリー連盟提出……………1部 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部……………1部  
各都道府県アーチェリー協会（連盟）……………1部 各加盟高等学校用……………1部  
各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局……………1部
- (3) 登録届提出先：〒153 東京都目黒区駒場1～35～32 東京工業高等学校内 「全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部」事務局



# 学校登録番号一覧表

(太字都道県名は、高体連加盟)

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
北海道 18校	01H01	道立札幌月寒高	062	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
	01H02	市立札幌啓北商業高	005	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2024	011-591-2023
	01H03	道立小樽潮陵高	047	小樽市潮見台2-1-1	0134-22-0754	0134-22-5954
	01H04	函館ラサール高	041	函館市日吉町1-12-1	0138-52-0365	0138-54-0365
	01H05	道立室蘭清水丘高	051	室蘭市増市町2丁目6番16号	0143-23-1221	0143-23-1746
	01H06	道立登別南高	059	登別市青葉町42-1	01438-5-8586	
	01H07	道立旭川南高	071-01	旭川市西神楽4線6号	0166-65-8770	0166-65-8772
	01H08	道立清水高	089-01	上川郡清水町北2西2-2	01566-2-2156	01566-2-2156
	01H09	道立帯広三条高	080-24	帯広市西23条2-12	0155-37-5501	0155-37-5503
	01H10	道立帯広工業高	080	帯広市南町南8線西24-1	0155-48-5650	0155-48-2680
	01H11	道立幕別高	089-06	中川郡幕別町南町81	0155-54-2159	0155-54-2159
	01H12	道立札幌西高	064	札幌市中央区宮ノ森4条8丁目1	011-611-4401	011-611-4403
	01H13	道立札幌啓成高	004	札幌市白石区厚別町東4条8-6-1	011-898-2311	011-898-2313
	01H14	道立札幌開成高	065	札幌市東区北22条東21	011-781-8171	011-781-5629
	01H15	道立旭川北高	070	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	
	01H16	道立旭川工業高	078	旭川市西神楽3線5号	0166-65-4115	0166-65-4127
	01H17	北海道新十津川農業高	073-11	樺戸郡新十津川町字中央13番地	01257-6-2621	
	01H18	北海高	062	札幌市豊平区旭町4丁目1-41	011-841-1161	
	01H19					
	01H20					
	01H21					
	01H22					
青森県 13校	02H01	県立三本木農業高	034	十和田市大字相坂字高清水78-92	0176-23-5341	0176-23-5341
	02H02	県立藤崎園芸高	038-38	南津軽郡藤崎町大字藤崎字下袋7-10	0172-75-3332	0172-75-6470
	02H03	八戸工業大学第二高	031	八戸市大字妙字大開67	0178-25-4311	0178-25-0568
	02H04	県立むつ工業高	039-51	むつ市文京町22-7	0175-24-2164	0175-29-2893
	02H05	八戸工業大学第一高	031	八戸市白銀町右岩淵通り7-10	0178-33-5121	0178-34-3942
	02H06	県立名久井農業高	039-05	三戸郡名川町大字名久井字下諏訪平1	0178-76-2215	0178-76-2260
	02H07	県立青森西高	030-02	青森市大字新城字平岡226-20	0177-88-0372	0177-88-8038
	02H08	県立青森東高	039-35	青森市大字原別字遠山13	0177-36-2444	
	02H09	青森山田高	030	青森市原田字板橋23	0177-39-2001	0177-39-1597
	02H10	県立青森中央高	030	青森市大字浦町字奥野428	0177-39-5135	
	02H11	県立五所川原農林高	037	五所川原市大字一野坪字朝日田2-37	0173-37-2121	
	02H12	県立八戸南高	031	八戸市大字鮫町小舟渡平2-291	0178-34-6001	
	02H13	県立五戸高	039-15	三戸郡五戸町字根岸6	0178-62-2828	
	02H14					
	02H15					
岩手県 3校	03H01	県立盛岡工業高	020	紫波郡南村大字羽場第18地割松崎	0196-38-3141	0196-38-8134
	03H02	盛岡白百合学園高	020	盛岡市山岸4丁目29番16号	0196-62-6270	
	03H03	県立住田高	029-23	気仙郡住田町世田米字川口12-1	0192-46-3141	
	03H04					

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	03H05					
宮城県 2校	04H01	市立 仙 台 工 業 高	983	仙台市宮城野区東宮城野3-1	022-237-5341	
	04H02	東 陵 高	988	気仙沼市宇大峠山1-1	0226-23-3100	
	04H03					
	04H04					
秋田県	05H01					
	05H02					
山形県 6校	06H01					
	06H02	天 真 学 園 高	998	酒田市浜田1-3-47	0234-22-4733	
	06H03	県立 鶴 岡 南 高	997	鶴岡市若葉町26-31	0235-22-0061	0235-24-5941
	06H04	県立 鶴 岡 北 高	997	鶴岡市若葉町16- 5	0235-22-2262	
	06H05	県立 鶴 岡 家 政 高	997	鶴岡市新形町16-20	0235-22-1200	
	06H06	県立 鶴 岡 工 業 高	997	鶴岡市家中新町 8 - 1	0235-22-5505	0235-25-1877
	06H07	県立 山 添 高	997-03	東田川郡櫛引町大字上山添字文栄38	0235-57-2100	0235-57-2101
	06H08					
	06H09					
福島県 2校	07H01	県立 田 村 高	977	田村郡三春町字持合畑135	0247-62-2185	
	07H02	県立 福 島 高	960	森合町 5 番72号	0245-35-2391	
	07H03					
	07H04					
茨城県	08H01					
	08H02					
栃木県 1校	09H01	県立 馬 頭 高	329-06	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	
	09H02					
	09H03					
群馬県 8校	10H01	県立 沼 田 女 子 高	378	沼田市片倉内町753-3	0278-22-4495	
	11H02	県立 藤 岡 北 高	375	藤岡市篠塚90	0274-22-2308	
	10H03	県立 沼 田 高	378	沼田市西原新町1510	0278-23-1313	
	10H04	県立 太 田 高	373	太田市西本町12-1	0276-31-7181	
	10H05	県立 安 中 実 業 高	379-01	安中市安中1-2-8	0273-81-0227	
	10H06	県立 館 林 女 子 高	374	館林市尾曳町6-1	0276-72-0139	
	10H07	県立 桐 生 西 高	376	桐生市相生町3-551-1	0277-52-2455	
	10H08	私立 高崎商科短期大学付属高	370	高崎市大橋町237-1	0273-22-2827	0273-22-2827
	10H09					
	10H10					
埼玉県 9校	11H01	大 宮 開 成 高	330	大宮市堀之内1-615	0486-41-7161	048-647-8881
	11H02	県立 豊 岡 高	358	入間市豊岡1-15-1	0429-62-5216	0429-65-6635
	11H03	県立 行 田 高	361	行田市大字長野1320	0485-56-6291	
	11H04	県立 所 沢 中 央 高	359	所沢市並木8-2	0429-95-6088	0429-94-6557
	11H05	春 日 部 共 栄 高	344	春日部市上大増新田213	048-737-7611	048-737-8093
	11H06	花 咲 徳 栄 高	347	加須市花崎江橋519	0480-65-7181	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	11H07	県立上尾橘高	362	上尾市大字平方2187-1	048-725-3725	048-726-5937
	11H08	県立新座高	352	新座市池田1-1-2	0484-79-5110	
	11H09	県立日高高	350-12	入間郡日高町旭ヶ丘806	0429-89-7920	
	11H10					
	11H11					
千葉県 12校	12H01	県立京葉高	290	市原市島野222	0436-22-2196	
	12H02	聖書学園千葉英和高	276	八千代市村上709-1	0474-84-5141	
	12H03	県立津田沼高	275	習志野市秋津5-9-1	0474-51-1177	
	12H04	県立磯辺高	260	千葉市磯辺2-7-1	0472-77-2211	
	12H05	県立松戸矢切高	271	松戸市中矢切54	0473-68-4741	
	12H06	県立姉崎高	299-01	市原市姉崎2632	0436-62-0601	
	12H07	県立流山中央高	270-01	流山市大畔275-5	0471-54-3551	
	12H08	県立生浜高	260	千葉市塩田町372	0472-66-4591	
	12H09	県立船橋高	273	船橋市東船橋6-1-1	0474-22-2188	
	12H10	八街学園高	289-11	印旛郡八街町八街625	0434-43-3221	0434-43-3443
	12H11	拓殖大学紅陵高	292	木更津市桜井1403	0438-37-2511	
	12H12	県立泉高	280-01	千葉市高根町875-1	0472-28-2551	
	12H13					
	12H14					
東京都 28校	13H01	東京学園高	153	目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641	
	13H02	都立四谷商業高	165	中野区上鷺宮5-11-1	03-3990-4226	03-3926-7523
	13H03	明治大学附属中野高	164	中野区東中野3-3-4	03-3362-8704	03-3368-3113
	13H04	駒場東邦高	154	世田谷区池尻4-5-1	03-3466-8221	
	13H05	東京工業高	153	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2138
	13H06	玉川学園高等部	194	町田市玉川学園6-1-1	0427-28-3503	0427-28-3588
	13H07	都立山崎高	194-01	町田市山崎町字9号1453-1	0427-92-2891	
	13H08	学習院高等科	171	豊島区目白1-5-1	03-3986-0221	03-5992-1016
	13H09	麻布学園高	106	港区元麻布2-3-29	03-3446-6541	
	13H10	獨協高	112	文京区関口3-8-1	03-3943-3651	03-3943-9119
	13H11	慶応義塾女子高	108	港区三田2-17-23	03-3451-3618	03-3451-3642
	13H12	武蔵野高	114	北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151	
	13H13	東海大学高輪台高	108	港区高輪2-2-16	03-3441-8234	03-3441-8238
	13H14	早稲田大学高等学院	177	練馬区上石神井3-31-1	03-3928-4251	03-3928-4110
	13H15	城北高	174	板橋区東新町2-28	03-3956-3157	03-3956-9779
	13H16	足立高	120	足立区千住旭町40-24	03-3888-5331	03-3888-6720
	13H17	淑徳高	174	板橋区前野町5-14-1	03-3969-7411	
	13H18	都立大山高	173	板橋区小茂根5-18-1	03-3958-2121	03-3959-8591
	13H19	昭和第一工業高	190	立川市栄町2-45-8	0425-36-1611	0425-36-1611
	13H20	国際基督教大学高	184	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
	13H21	都立第四商業高	176	練馬区貫井3-45-19	03-3990-4221	03-3926-7040
	13H22	日体桜華女子高	189	東村山市富士見町2-5-1	0423-91-4133	0423-92-6424

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	13H23	明治学院東村山高	189	東村山市富士見町1-12-38	0423-91-2142	0423-91-5926
	13H24	都立 館 高	193	八王子市館町1097-136	0426-63-3315	0426-62-9831
	13H25	大東文化学園高				
	13H26	藤村女子高				
	13H27	都立野津田高	194-01	町田市野津田町200	0427-34-2311	0427-34-9388
	13H28	都立小平西高	187	小平市小川町1-502-95	0423-45-1411	
	13H29					
	13H30					
	13H31					
	神奈川県 17校	14H01	横 浜 高	236	横浜市金沢区能見台通47-1	045-781-339
14H02		相模女子大学高	228	相模原市文京2-1-1	0427-42-1442	
14H03		県立 緑ヶ丘高	231	横浜市中区本牧緑ヶ丘37	045-621-8641	
14H04		浅 野 高	221	横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-3281	045-421-4080
14H05		三 浦 高	239	横須賀市衣笠栄町3-80	0468-52-0284	
14H06		市立横須賀高	238	横須賀市森崎5-1-1	0468-36-0413	0468-36-1365
14H07		県立東金沢高	236	横浜市金沢区富岡東2-6-1	045-774-1188	045-776-2357
14H08		県立小田原城内高	250	小田原市南町1-6-34	0465-23-3251	0465-23-6142
14H09		県立 湘南高校通信制少年工科学校	238-03	横須賀市幸浜2-1	0468-56-1291	
14H10		平和学園高	253	茅ヶ崎市富士見町5-2	0467-87-0132	0467-87-2088
14H11		東海大学付属相模高	228	相模原市相南3-33-1	0427-42-1251	0427-42-1159
14H12		慶応義塾高	223	横浜市港北区日吉4-1-2	044-63-1111	
14H13		横浜学園高	235	横浜市磯子区岡村2-4-1	045-751-6941	
14H14		県立永谷高	233	横浜市港南区下永谷町625-1	045-252-5348	
14H15		市立南 高	233	横浜市港南区東永谷町2-1-1	045-822-1910	
14H16		県立上矢部高	245	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	045-862-6347
14H17		鎌倉女学院高	248	鎌倉市由比ヶ浜2-10-4	0467-25-2100	0467-25-1358
14H18						
14H19						
山梨県 5校	15H01	県立甲府第一高	400	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	
	15H02	山梨英和高	400	甲府市愛宮町112	0552-52-6184	0522-51-7468
	15H03	甲府湯田高	400	甲府市青沼3-10-1	0552-33-0127	0552-33-0129
	15H04	県立農林高	400-01	中巨摩郡竜王町西八幡4533	0552-76-2611	
	15H05	県立機山工業高	400	甲府市下飯田1-9-1	0552-28-7281	
	15H06					
	15H07					
新潟県 3校	16H01	県立長岡工業高	940	長岡市幸町2-7-70	0258-36-4510	
	16H02	敬和学園高	950-31	新潟市太夫浜325	025-259-2391	
	16H03	新潟産業大学附属高	945-13	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
	16H04					
	16H05					



都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
長野県 1校	17H01	県立 篠ノ井 校	388	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	0262-92-0066	
	17H02					
	17H03					
富山県 1校	18H01	高岡竜谷高	933	高岡市古定塚4-1	0766-22-5141	0766-25-8149
	18H02					
	18H02					
石川県 3校	19H01	県立 柳田農業高	928-03	鳳至郡柳田村字柳田倍93	0768-76-1211	0762-65-5346
	19H02	県立 金沢向陽高	920-01	金沢市大場町590	0762-58-2355	
	19H03	県立 工業高	920	金沢市本多町2-3-6	0762-61-7156	
	19H04					
	19H05					
福井県 4校	20H01	県立 丹南高	916	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0770-24-2620 0776-24-5464
	20H02	県立 金津高	919-06	坂井郡金津町南金津33	0776-73-1255	
	20H03	敦賀気比高	914	敦賀市沓見164-1	0770-24-2150	
	20H04	県立 高志高	910	福井市御幸2-25-8	0776-24-5175	
	20H05					
	20H06					
静岡県 14校	21H01	県立 修善寺工業高	410	田方郡修善寺町牧之郷892	0558-72-3322	0558-72-1955
	21H02	静岡県富士見高	416	富士市平垣町1-1	0545-61-0250	0545-63-5040
	21H03	県立 静岡商業高	420	静岡市田町7-90	0542-55-6241	0542-55-9241
	21H04	県立 袋井高	437	袋井市愛野2446-1	0538-42-0191	0538-43-0710
	21H05	県立 浜松工業高	433	浜松市初生町1150	0534-36-1101	0534-37-9988
	21H06	県立 浜松商業高	432	浜松市文丘町4-11	0534-71-3351	0534-75-2109
	21H07	信愛学園高	430	浜松市下池川町34-3	0534-71-5336	0534-75-2395
	21H08	興誠高	430	浜松市高林1-17-2	0534-71-4136	0534-71-4137
	21H09	県立 浜松北高	432	浜松市広沢1-30-1	0534-54-5548	0534-56-3316
	21H10	県立 浜松湖東高	431	浜松市大人見町3600	0534-85-0215	0534-85-3947
	21H11	県立 三ヶ日高	431	引佐郡三ヶ日町釣78-1	0535-25-0103	0535-25-0426
	21H12	県立 天竜林業高	431-33	天竜市二俣町二俣601	05392-5-3139	0539-25-7422
	22H13	静岡北高	420	静岡市瀬名3240	0542-61-5801	0542-62-5573
	22H14	県立 静岡東高	420	静岡市川合757番地	0542-61-6636	0542-63-5970
	22H15					
	22H16					
愛知県 15校	22H01	愛知高	464	名古屋市千種区光が丘2-11-41	052-721-1521	052-723-2254
	22H02	愛知工業大学名電高	464	名古屋市千種区若水3-2-12	052-721-0311	052-711-4620
	22H03	愛西学園弥富高	498	海部郡弥富町稲吉41	0567-68-2233	0567-68-3974
	22H04	愛知女子高	451	名古屋市西区新道1-23-15	052-571-8422	052-561-0713
	22H05	東海学園東海女子高	468	名古屋市天白区天白町平針黒岩	052-801-6222	052-804-0647
	22H06	東海高	461	名古屋市東区筒井1-2-35	052-936-5111	052-936-9744
	22H07	東邦高	465	名古屋市市東区平和が丘3-11	052-782-1171	052-782-7151
	22H08	金城学院高	461	名古屋市東区白壁4-64	052-931-6236	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	22H09	県立安城高	446	安城市北山崎町大土塚10	0566-74-1231	
	22H10	県立三河高	444	岡崎市岡町字原山12-10	0564-48-5211	0564-48-5300
	22H11	桜丘高	440	豊橋市南牛川2-1-11	0532-61-6421	0532-63-9278
	22H12	県立衣台高	471	豊田市太平町平山5番地	0565-33-1080	
	22H13	県立西尾東高	445	西尾市小島町大郷1-4	0563-56-1911	
	22H14	県立岡崎高	444-35	岡崎市竜泉寺町字後山27	0564-52-8911	
	22H15	名古屋工業高	466	名古屋市昭和区円上町22-38	052-871-2681	052-881-0761
	22H16					
	22H17					
22H18						
三重県 3校	23H01	三重高	515	松阪市久保町梅村3	0598-29-2959	
	23H02	暁高	512	四日市市萱生町城山238	0593-37-2345	
	23H03	松阪女子高	515	松阪市久保町梅村1番地	0598-29-4151	0598-29-6944
	23H04					
	23H05					
岐阜県 2校	24H01	聖マリア女学院高	501-25	岐阜市福富201	0582-29-1102	
	24H02	高山西高	506	高山市下林町353	0577-32-2591	
	24H03					
	24H04					
滋賀県 11校	25H01	県立大津商業高	520	大津市御陵町2-1	0775-24-4284	0775-26-1802
	25H02	県立大津高	520	大津市馬場1-1-1	0775-23-0386	0775-26-1772
	25H03	県立栗東高	520-30	栗太郡栗東町小野618	0775-53-3350	0775-54-1537
	25H04	市立守山女子高	524	守山市勝部町962	0775-82-2019	0775-83-2829
	25H05	県立甲南高	520-33	甲賀郡甲南町寺庄427	0748-86-4145	0748-86-4983
	25H06	県立八幡商業高	523	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2436	0748-32-4052
	25H07	県立愛知高	529-13	愛知郡愛知川町愛知川102	0749-43-2150	0749-42-6172
	25H08	県立伊吹高	521-02	坂田郡山東町朝日302	0749-55-2350	0749-55-2778
	25H09	県立長浜商工高	526	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370	0749-65-1344
	25H10	県立虎姫高	529-01	東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055	0749-73-2967
	25H11	県立北大津高	520-02	大津市仰木町南嶋	0755-73-5881	0775-73-7076
	25H12					
	25H13					
京都府 7校	26H01	私立同志社高	606	京都市左京区岩倉大鷲町	075-781-7121	075-781-7124
	26H02	私立同志社女子高	602	京都市上京区今出川通寺町西入	075-251-4305	075-251-4308
	26H03	私立福知山商業高	620	福知山市宇堀水内	0773-22-6224	
	26H04	市立洛陽工業高	601	京都市南区唐橋大宮尻町22	075-691-3161	
	26H05	市立紫野高	603	京都市北区紫野大徳寺町22	075-491-0221	
	26H06	府立木津高	619-02	相楽郡木津町木津	07747-2-0031	
	26H07	府立兔道高	611	宇治市五ヶ庄五雲峰4-1	0774-33-1691	
	26H08					
	26H09					

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
大阪府 15校	27H01	府立 和 泉 工 業 高	594	和泉市富秋町33	0725-41-1250	0725-45-8985
	27H02	大 阪 高	533	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-340-3031	06-349-3719
	27H03	大阪工業大学高	535	大阪市旭区大宮5-16-1	06-952-3131	
	27H04	大阪女子商業高	543	大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19	06-719-2801	06-714-0045
	27H05	関 西 大 倉 高	567	茨木市室山2-14-1	0726-43-6321	0726-43-8375
	27H06	市立 岸 和 田 産 業 高	596	岸和田市別所町541	0724-22-4861	0724-22-4862
	27H07	府立 久 米 田 高	596	岸和田市額原町	0724-43-6651	0724-43-0307
	27H08	此 花 学 院 高	544	大阪市生野区勝山南2-6-38	06-716-0003	
	27H09	帝塚山学院高	558	大阪市住吉区帝塚山中3-10-51	06-672-1151	06-678-8797
	27H10	浪 速 工 業 高	566	摂津市三島3-5-36	06-381-0220	06-383-4822
	27H11	府立 西 野 田 工 業 高	553	大阪市福島区大開2-17-62	06-461-0023	06-461-3483
	27H12	初 芝 高	591	堺市日置荘西町51	0722-85-0128	0722-86-8405
	27H13	桃 山 学 院 高	545	大阪市阿倍野区昭和町3-1-64	06-621-1181	06-621-1198
	27H14	府立 山 本 高	581	八尾市山本町北1-1-44	0729-99-0552	
	27H15	府立 工業高等専門学校	572	寝屋川市幸町26-12	0720-21-6401	0720-21-0134
	27H16					
	27H17					
兵庫県 16校	28H01	滝 川 高	654	神戸市須磨区宝田町2-1-1	078-732-1625	078-732-7391
	28H02	須磨ノ浦女子高	654	神戸市須磨区行幸町2-7-3	078-731-6637	078-731-6149
	28H03	甲 南 高	659	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
	28H04	市立 琴 丘 高	670	姫路市今宿668	0792-92-4925	
	28H05	県立 星 陵 高	655	神戸市垂水区星陵台4-3-2	078-707-6565	
	28H06	夙 川 学 院 高	662	西宮市神園町2-20	0798-74-5061	0798-74-1596
	28H07	松 蔭 高	657	神戸市灘区青谷町3-4-47	078-861-1105	078-861-1887
	28H08	甲 南 女 子 高	658	神戸市東灘区森北町5-6-1	078-411-2531	078-411-2535
	28H09	神戸山手女子高	650	神戸市中央区諏訪山町6-1	078-341-6050	
	28H10	県立 舞 子 高	655	神戸市垂水区学が丘3-2	078-783-5151	078-783-5152
	28H11	県立 姫 路 東 高	670	姫路市本町68	0792-85-1166	0792-85-1167
	28H12	県立 夢 野 台 高	653	神戸市長田区房王寺町2-1-1	078-691-1546	
	28H13	須 磨 女 子 高	654	神戸市須磨区板宿町3-15-14	078-732-1968	
	28H14	滝 川 第 二 高	673-02	神戸市西区平野町下村字平瀬436-1	078-994-6506	078-961-4591
	28H15	県立 西 宮 甲 山 高	662	西宮鷲林寺剣谷10	0798-74-2460	
	28H16	神戸女子商業高	653	神戸市長田区腕塚町6-1-22	078-611-1143	078-611-7070
	28H17					
	28H18					
奈良県 2校	29H01	県立 奈 良 高	630	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
	29H02	天 理 高	632	天理市柚之内町1260	07436-3-1511	07436-3-1368
	29H03					
	29H04					

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
和歌山県 1校	30H01	県立 貴 志 川 高	640-04	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
	30H02					
	30H03					
鳥取県 5校	31H01	米 子 北 高	683	米子市米原523	0859-22-9371	0859-32-6838
	31H02	県立 倉 吉 農 業 高	682	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1341
	31H03	県立 倉 吉 東 高	682	倉吉市下田中町801	0858-22-5205	0858-22-5206
	31H04	県立 鳥 取 商 業 高	680	鳥取市湖山町北2-401	0857-28-0156	0857-28-0157
	31H05	県立 鳥 取 東 高	680	鳥取市立川町5-210	0857-22-8495	0857-22-8497
	31H06					
	31H07					
島根県 1校	32H01	県立 松 江 東 高	690	松江市西川津町字宮尾510	0852-27-3700	0852-27-3703
	32H02					
	32H03					
岡山県 3校	33H01	岡山理大付属高	700	岡山市理大町1-1	0862-52-3161	0862-55-6312
	33H02	新見女子高	718	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8988
	33H03	高 梁 日 新 高	716	高梁市内山下150	0866-22-3466	
	33H04					
	33H05					
広島県 17校	34H01	尾 道 高	722	尾道市栗原町1268-1	0848-23-2312	
	34H02	広島大学付属福山高	721	福山市春日町吉田	0849-41-8350	0849-41-8356
	34H03	市立 呉 豊 栄 高	737	呉市阿賀中央5-13-56	0823-72-5577	
	34H04	県立 呉 宮 原 高	737	呉市宮原3-1-1	0823-21-9306	
	34H05	県立 海 田 高	736	安芸郡海田町つくも町1-60	082-822-3030	
	34H06	県立 加 計 高	731-35	山県郡加計町加計3780-1	08262-2-0488	
	34H07	山 陽 高	733	広島市西区観音新町4-12-5	082-232-9156	082-232-2497
	34H08	修 道 高	730	広島市中区南千田西町8-1	082-241-8291	082-249-0870
	34H09	広島女子商業高	732	広島市南区南段原町11-5	082-261-8161	
	34H10	県立 広 島 工 業 高	734	広島市南区出汐2-4-75	082-254-1421	
	34H11	国立 広 大 付 属 高	734	広島市南区翠1-1-1	082-251-0191	082-252-0725
	34H12	県立 広 島 皆 実 高	734	広島市南区出汐2-4-76	082-251-6441	
	34H13	県立 可 部 高	731-02	広島市安佐北区可部3-15-26	082-814-2032	082-815-4781
	34H14	山 陽 女 子 高	738	廿日市市佐方本町1-1	0829-32-2221	0829-32-7681
	34H15	県立 因 島 北 高	722-21	因島市垂井町長浜	08452-4-1281	
	34H16	英 数 学 館 高	721	福山市引野字日和980-1	0849-41-4115	0849-41-4118
	34H17	福山暁の女子高	721	福山市西深津町3丁目4番1号	0849-22-1682	0849-25-1533
	34H18					
	34H19					
山口県 8校	35H01	県立 久 賀 高	742-23	大島郡久賀町4851-2	08207-2-0024	
	35H02	県立 下 関 西 高	751	下関市後田町4-10-1	0832-22-0892	
	35H03	聖 光 高	743	光市光井緑ヶ丘	0833-72-1187	
	35H04	県立 田 布 施 工 業 高	742-15	熊毛郡田布施町大字麻郷奥127	0820-48-2306	

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	35H05	県立 田 布 施 農 業 高	742-15	熊毛郡田布施町大字波野	0820-52-2157	
	35H06	県立 西 京 高	753	山口市大字黒川2580-1	0839-23-8508	0839-32-0721
	35H07	県立 華 陵 高	744	下松市朱武上屋称下	0833-44-1285	
	35H08	県立 下 松 高	744	下松市大字河内114	0833-41-0157	
	35H09					
	35H10					
香川県	36H01	県立 高 松 西 高	761	高松市鬼無町山口257-1	0878-82-6411	0878-82-6413
2校	36H02	県立 観 音 寺 第 一 高	768	観音寺市観音寺町甲648-1	0875-25-4155	
	36H03					
	36H04					
徳島県	37H01	県立 徳 島 工 業 高	770	徳島市北矢三町2-1-1	0886-31-4185	0886-31-4185
2校	37H02	県立 鳴 門 高	772	鳴門市撫養町斉田字岩崎135-1	0886-85-3217	
	37H03					
	37H04					
愛媛県	38H01					
	38H02					
高知県	39H01	県立 高 知 小 津 高	780	高知市城北町1-14	0888-22-5270	
1校	39H02					
	39H03					
福岡県	40H01	県立 柏 陵 高	815	福岡市南区大字柏原4-47-1	092-566-3232	
4校	40H02	県立 折 尾 高	807	北九州市八幡西区大膳2-23-1	093-691-3561	
	40H03	県立 門 司 北 高	800-01	北九州市門司区猿喰1462-2	093-481-4673	
	40H04	小倉女子商業高	803	北九州市小倉区皿山町15-1	093-561-1334	093-561-4844
	40H05					
	40H06					
佐賀県	41H01	県立 佐 賀 農 芸 高	840-02	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	
1校	41H02					
	41H03					
長崎県	42H01	県立 大 村 工 業 高	856	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	
3校	42H02	県立 諫 早 東 高	854-02	北高来郡森山町杉谷名317	0957-36-1010	
	42H03	県立 長 崎 南 商 業 高	851-02	長崎市北浦町2885-1	0958-36-0120	
	42H05					
	42H04					
熊本県	43H01	県立 第 二 高	862	熊本市東町3-8	096-368-4125	
3校	43H02	有 明 高	864	荒尾市増永字長浦2200	0968-63-0958	0968-64-1366
	43H03	東海大学第二高	862	熊本市大江町渡鹿223	096-382-1146	096-385-2161
	43H04					
	43H05					
大分県	44H01	別府女短大付属高	874-01	別府市大字野田78	0977-66-5918	0977-67-8133
11校	44H02	明 星 高	874	別府市野口原3088	0977-21-2090	
	44H03	大 分 櫻 丘 高				

都道府県名	指定学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	備 考
	44H04	県立 鶴 見 丘 高	874	別府市鶴見字横打4433-2	0977-21-0118	0975-35-0966
	44H05	大 分 電 波 高	870	大分市新貝11-40	0975-58-3734	
	44H06	県立 別 府 羽 室 台 高				
	44H07	県立 佐 伯 豊 南 高				
	44H08	大 分 東 明 高	870	大分市千代町2-4-4	0975-35-0201	
	44H09	県立 豊 府 高	980	大分市大字羽屋600-1	0975-46-2222	
	44H10	大 分 高	870-01	大分市横尾字大丸尾	0975-51-1101	
	44H11	県立 大 分 上 野 台 高	870	大分市上野丘2丁目10番1号	0975-43-6249	
	44H12					
	44H13					
	宮崎県 2校	45H01	県立 都 城 泉 ヶ 丘 高	885	都城市妻ヶ丘町27-15	
45H02		県立 都 城 西 高				
45H03						
45H04						
鹿児島県 2校	46H01	鹿児島純心女子高	890	鹿児島市鴨池町1847	0992-54-4121	
	46H02	県立 鹿 児 島 工 業 高	890	鹿児島市草牟田2-57-1	0922-22-9205	
	47H03					
	47H04					
沖縄県 5校	47H01	県立 豊 見 城 南 高	901-02	島尻郡豊見城村字翁長520	0988-50-1951	
	47H02	県立 宜 野 湾 高	901-22	宜野湾市字真志喜268	09889-7-1020	
	47H03	県立 中 部 商 業 高	901-22	宜野湾市字我如古133	09889-8-4888	
	47H04	県立 前 原 高	904-22	具志川市字田湯1827	0989-73-3249	
	47H05	県立 大 平 高	901-21	浦添市大平488	0988-79-3062	
	47H06					
	47H07					

- 都道府県数 44県（内26都道府県 高体連に加盟 平成3.3月現在）
- 学 校 数 292校
- 新規加盟校の指定学校番号は、各都道府県で指定学校番号を付記し本専門部へ通知すること。

1990年 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟 登録状況一覧表

番号	都道府県名	単 独 校		複数校	女 子	男 子	総 計	備 考
		女子	男子					
1	○北海道	1	2	13	111	198	309	
2	○青森	2	3	6	48	86	134	
3	○岩手	2		1	48	16	63	
4	宮城			2	12	13	25	
5	秋田							
6	○山形	2	1	3	55	40	95	
7	福島		1	1	7	13	20	
8	茨城							
9	○栃木			1	5	19	24	
10	○群馬	4	2	2	76	62	138	
11	○埼玉	2	1	5	129	104	233	
12	○千葉		1	11	117	164	281	
13	○東京	5	12	8	187	335	522	
14	○神奈川県	4	5	6	125	212	337	
15	○山梨	2	2	1	19	17	36	
16	新潟		2	1	6	22	28	
17	長野			1	4	3	7	
18	富山			1	1	6	7	
19	○石川	1	1	1	21	24	45	
20	○福井	1		3	34	28	62	
21	○静岡	2	6	6	114	249	363	
22	○愛知	5	4	4	83	175	258	
23	三重	1	1		17	8	25	
24	岐阜	1			20		20	
25	○滋賀	2		9	96	126	222	
26	○京都	1	2	4	93	124	217	
27	○大阪	2	7	6	109	258	367	
28	○兵庫	7	2	7	150	96	246	
29	○奈良			2	22	30	52	
30	和歌山			1	10	12	22	
31	○鳥取			5	54	64	118	
32	島根			1	3	8	11	
33	岡山	1	2		14	23	37	
34	○広島	3	3	10	131	157	288	
35	○山口	1	2	5	55	65	120	
36	○香川			2	28	40	68	
37	徳島			2	22	31	53	
38	愛媛							
39	高知							
40	○福岡	2		2	56	34	90	
41	佐賀			1	10	13	23	
42	長崎	1	2		13	47	60	
43	熊本			3	26	52	78	
44	大分	2	1	1	33	7	40	
45	宮崎							
46	鹿児島	1	1		6	23	29	
47	○沖縄		1	4	38	44	82	
合 計		58	67	142	2,207	3,048	5,255	

○高体連加盟 26都道府県

292校+α

## '90ジュニアチーム海外派遣

### 《はじめに》

90年度ジュニアチームの海外派遣は、106回「全米選手権大会」に高校生3名、大学生5名、計8名の選手が派遣された。派遣された高校生は、赤井雅宏 北大津高校（滋賀県）・親泊竜也 宜野湾高校（沖縄県）・湯浅久美子 安中実業高校（群馬県）の3名である。

今回はこの全米選手権に出場した宜野湾高校の親泊竜也君の文章を紹介し報告に変えた。

### 《全米選手権に参加して》 宜野湾高校 親泊竜也

昨年3月に行われた「全国高校選抜大会」で、私はナショナル高校生チームに選抜された。しかしこれは決定ではなく、このあと2回の選考会が行われ、大学生を含んだ上位者のみが「Jr. チーム」に選抜され全米選手権参加の資格を得ることができる。

私は「どうしてもアメリカに行きたい！行って試合をしたい！」この目標を達成したい一心で選考会に参加した。結果は上位にくいこむことができ、「Jr. チーム」に選抜されアメリカ行きの切符を手に入れることができた。

8月2日、いよいよアメリカに出発の日。緊張感は特になく初めて長時間乗る飛行機の中で、どう過ごすかを考えていた。2日の夕方、やっとアメリカに到着した。ホッとするまもなく、バスに乗り宿舎の「マイアミ大学」の寮へ向かった。2時間かけて「マイアミ大学」に到着した。宿舎は二人部屋でけっこう広かった。

ところで、アメリカに来る前に考えていた不安は「言葉」と「食事」のことであった。「言葉」が通じないこともあったが、それ以上に辛かったのが、なれないせいもあり毎日の食事であった。とくに食生活の違いを感じたのは、「ご飯がない」「量が多い」と言うことだった。好物の「ハンバーガー」にしても、大きく食べにくかった。

5日～9日の4日間にわたって行われた「全米選手権大会」は、幸いにも初日から最終日まで天候に恵まれ、風もほとんどなく、アーチェリーには適した日が続いた。本来ならばベストコンディションで望むべき試合なのだが、「時差ボケ」のためか多少身体がだるく感じられ、前半苦しい試合運びとなったが、後半は徐々に回復し自分本来の射ができた。「全米選手権大会」での試合方法は、私にとってなかなか面白いものであった。得点を出し順位が上がると中央へ進むことができ、自分の順位がはっきりとわかる。中央へ近づけば近づくほど、トップアーチャーと同じでプレイができる。こんなやりがいのある試合方法は自分にあっていると思った。初日から最終日まで、わたしはかなり中央に近づくことができた。そして、アーチェリー雑誌でしか見ることのなかった、J. パースやR. マッキーニを間近に見ることができ、自分も彼らと同じシューティングラインで試合していることに、とても感激した。メンタル的には、緊張感もほとんどなく、さほど順位も気にせずマイペースで気持ち良く試合が進められた。

試合が終わり順位はともかく、「全米選手権大会」に参加しプレイできた事に、十分な満足感と自信を感じる事ができた。

後日、私達はD. パース宅のディナーに招待され、トップアーチャーと食事をともにすることができた。

帰国を目前にした12日私達は、ロサンゼルス市内を見学した。実を言うところに来て初



めて、アメリカに来ているんだと実感したのは不思議だった。

いよいよ日本に帰る日がきた。私は今後も弓を続け、「全米選手権大会」の他の「国際大会」にも出場することを誓いながら、アメリカをあとにした。

《第106回 全米選手権大会 Jr.チーム成績》（高校生のみ）

男子選手

氏名	所属	順位	1st Round	2nd Round
親泊 竜也	宜野湾高校	24	1,173	1,167
赤井 雅宏	北大津高校	27	1,139	1,178

女子選手

氏名	所属	順位	1st Round	2nd Round
湯浅 久美子	安中実業高校	28	1,139	1,177

《おわりに》

91年度のJr. チーム海外派遣は、ノルウェイで開催される、第1回「ジュニア世界選手権大会」の予定である。年齢制限があるため、高校生だけのチームが、オフィシャルに日本代表として参加することになる。この大会は、7月26日から開催される。つまり日本国内の「高校選手権大会」とバッティングすることになる。選手・顧問ともどちらの大会を優先するかという問題が生じてくる。

このようなケースは今後も多数考えられ、高校生が世界に羽ばたく時期がやって来た今、割り切った考えを方を強いられることになる。高校生の全国的規模の「強化」について、早急に、各校の監督・顧問の共通理解と研修が必要な時期にきているのではないかと考えます。

最後に、「Jr. チーム」にご尽力くださいました関係各位に心よりお礼申し上げます。

11. Mar. '91 文責 全国高体連アーチェリー専門部  
強化委員 朝倉基夫

'90 Jr. チーム



写真  
前列左側より、親泊・赤井・枯木・藤本  
後列左側より、小山・大城・佐藤・湯浅

## 〔学校紹介〕

# 柏陵高校アーチェリー一部Ⅱ

福岡県立柏陵高等学校

アーチェリー部監督 藤川 毅

全国大会団体男子二連覇、全国大会・国体個人男子優勝、全日本選手権男子2位、団体男子日本高校記録(1955点)樹立、九州大会アベック優勝、国体男女各2名出場など、平成2年度は、柏陵高校アーチェリー部にとって、大変実りの大きな1年間でありました。そして、生徒は、これらの大会は勿論のこと、日々の試行錯誤の練習の中で多くの事を体験し学んでいるようです。そこで、生徒達の感想文から、その内容を一部抜き出してみたいと思います。

◎ 今年、「とびうめ国体」を前に全国大会で優勝することができて本当に嬉しいです。私達にとってこれからの人生への大きな自信になることでしょう。先生をはじめ、関係者の皆様に感謝し、この素晴らしい感動を噛み締めています。私達は、今大会に向けての準備を、先生の指導を基におこないました。そこで、次にあげる事に努力したのです。1つは、ここ一番という時に、自分を信じられるだけの練習量をこなすということでした。これを、試合1ヶ月前までの目標としたのです。練習量と言っても学校での練習は、課外等があり、限られた時間内のことです。他校よりも練習時間が少ないのは仕方ありません。後は個々が帰宅してからの自主練習(イメージトレーニングや体力トレーニング)で練習量をカバーすることにしました。2つ目は、ライバルに勝て、ということです。試合1ヶ月前になって、団体メンバーを中心とした実戦形式の記録会を繰り返す中で、ライバルに1回でも2回でも多く勝つことを目標に努力しました。そうしている内に、私達は、自然と全体の技術や精神の進歩の中で競い合い、互いに刺激し合い、向上していこうとする意識が芽生え始めました。やがて、それがチームを信頼することにつながり、チーム内の個々の自覚ができていったのです。それと、もう1つ私達が重視してやってきたことがあります。試合中、気持にむらがあっては、いかに技術を習得している者でも十分に力を発揮することができません。特にメンタルな私達の競技では、感情(気持)のコントロールが重要になってきます。そこで私達は、個々の精神力(競技中の自分の精神レベル)に目を向けながら、気持によるプレーの変化をノートにまとめるようにし、自分の特徴と傾向を知ること努めました。同様に、最高のプレーができた時の気持や脈拍もノートと頭に記憶させ、練習中に、できるだけ良い状態の気持と脈拍に、いつでもなれるよう反復練習をしました。その結果、自分の意識で、多少ですが、良い状態でプレーを継続する一貫性が保てるようになったのです。

◎ アーチェリーは、一人一人の責任で点数を出せばいいとよく言う人がいます。しかし、

団体戦において、私達高校生のレベルでは、一人でも調子が悪くて点数が出ずに怒ったり、落ち込んでいたら、気にしないで試合に集中することなどできません。だから、私達は、点数が出なくても回りに気を配り必死になって態度に出ないように努力しました。今考えてみれば、このようなチームワークも、耐久練習を境に深まったように思います。1日に1080本を射つ練習は、体力・忍耐力・精神力を強化しようとしたことでしたが、実際に射ってみると指がたちまち腫れあがり、大変苦しい練習でした。途中で止めることもできたのですが、一人が止めることによって、今まで頑張ってきた者たちの雰囲気は崩れてはいけないと思い、みんな必死でやりました。その苦しみも、1ヶ月後の全国大会予選には、大きな自信と、チームワークにつながり、日本高校記録を樹立できたのだらうと思います。

◎ 私は、アーチェリーをしていて、技術も習いましたが、それ以外に大切なことを教わりました。それは、日常の生活面、他人への心配り、友達との交流です。アーチェリーは、たゆまない努力は勿論大切ですが、それだけでは、最終的な勝利者にはなれないように思います。私達は、ほめられることよりも、怒られることの方が多かった気がします。そして、その内容は、日常の生活面のことが大半でした。私は他人への心配りが悪い方だったのでよく怒られました。

◎ 柏陵高校は、進学校であるため、朝課外と放課後課外で練習時間があまりありません。毎日の練習時間は、2～3時間程度ですから、どうしても量より質という考えで先生と一緒にメニューを決めて今もやっています。先生は、いつもおっしゃいます。「ただ射っているだけではだめ、試合だと思って射て。練習の為の練習ではだめだ。試合で必要になることは、すべて練習で反復練習、反復練習。準備体操、サイト合わせ、つけ矢、全て試合と練習区別してはいけません。練習で、できないことが、試合でできる訳がない、だから集中練習。試合で緊張しない奴はいない、練習で緊張して、試合でも緊張しよう。」これも量より質だと思います。時間は短いけれど、その短い時間の中で私は、何かをつかんでいこうと思いつつ練習しました。途中で投げ出したいと思った時もあります。生活の中で中心だったアーチェリーが、うまくいかなかったら、うまくいくまで茫然としてしまって、他にはなにも手につかなかつたり、何もかもが面白くなくなったような、気がします。

◎ 今年、柏陵が好成績を収めた理由の1つとして、試合に対してのコンディショニングが非常にうまくいっていたように思います。試合ごとに皆が良い調子に、もって行けたように思います。ただ、全国大会の時は、出発前に団体メンバーの内の2人が腱鞘炎のために、痛み止めを打っての参加だったので非常に心配でしたが、現地での調整や試合前のミーティングで皆の気持が1つになって、やる気が湧いて来ました。試合の直前までは、全員緊張していましたが、試合が始まってみれば、必死でしたが、練習通りに射てたように思います。結果的には、自分たちの1年前からの目標「全国大会で日本高校記録をマークする。」は達成できませんでしたが、優勝できて本当に嬉しかったです。「勝敗の90%は、

勝負をする前に決定している。一番になる者は、一番の意識で、一番の練習を毎日欠かさずやっている。」今回の優勝で先生の言われていたことが、実感できました。後輩達も是非この言葉どおりに努力して、三連覇を達成して欲しいと思います。

活力と誇りと自負にあふれているのが若さの特権で、顧問から見れば非常に頼もしい限りですが、時としてそれが「不遜」となることを生徒は、まだ学んでおりません。大きな挫折を知らぬ生徒の人となりに不安も感じておりますが、これも若さ故、なにとぞ御容赦をお願い致します。今後は「初心忘るべからず」という言葉を精神的な糧として、生徒共々更に厳しい練習を積んでいく所存ですので、今後とも諸先生方の御指導、御鞭撻をよろしくお願い致します。

### 3 回 目 の 優 勝

福岡県立折尾高等学校

アーチェリー部監督 岡 部 美義男

昭和60年1月創部以来、6回の全国大会の成績が、14・5・1・1・2・1と並んでみれば、なぜこんなことになったのだろうと考え込んでしまいます。アーチェリー部の前に指導していた水泳部もそうでしたが、やることなすことすべてうまく行く、怖いほどです。思いおこせば私の回りにはすばらしい生徒達が常にたくさんいた。今と同様昔からずーっと。明るいし、素直である。楽しくスポーツして、「勝ち」がついてくる。不思議です。

そんな生徒たちが、年の瀬の12月、私の家で食事会をした時の「オシャベリ」です。初めてのことで、録音機2台とメモ作戦で以下の如きものができました。ちょっと聞いてあげて下さい。

鷹尾 では、私が上級生として進行させていただきます。これまで、お互いの入部の動機など話したことがなかったと思うので、まず、このことから。私の場合は弓道をしたいなと思っていただけ、折尾高校には弓道部がなかったんですね。アーチェリー部ならあると聞いたので、じゃあここに入部しようと思って。はじめてめうったときは、全然、当たらなかったのくやしうって。

荒井 私は鷹尾さんより、ちょっと早く入部したので、はじめは1年生ひとりで心細かったんですね。弓は緊張して当たらないし、最初はどうなることやらと心配でした。入部したのは、中学生の時に「市政だより」で折高アーチェリー部の全国優勝の記事を読んでから、私もアーチェリーしてみたいなと思い、折高は校区ちがだったので、祖母のところ住所を移して、入学しました。

谷口 私も鷹尾先輩と同じで、和弓をしたかったんです。入部してからは、同じ一年生なのに、玉井さんが上手なのでびっくり。でも、彼女は中学の時からやってるから、いつか彼女より上手になってやるぞと思いました。

村上 私もはじめて弓をうった時、全部的に当るので、ひょっとして私は天才なのではなんて思ったら、玉井さんは全部真ん中の黄色に当たったのでショックー（笑い）

玉井 私は中学のとき、テレビでアーチェリーを見て、あこがれてやりはじめました。高校は是非、アーチェリー部のあるところへと思い、アーチェリーの雑誌を見て、二連覇している折高に入学したいと両親に相談して決めました。

野村 私は姉が折高の卒業生で、水泳部だったんです。その時の顧問が岡部先生で、よく先生のことも聞いていたしー。はじめは、腕に弦が当たったりで、痛くて、こんなんでもやっていけるかなと不安になったけど、あの頃やめずによかった。

泉 私はフェンシングがしたかったんですよ。でもなかったし、アーチェリーも洋式だ

からかっこのいいだろうなんて軽く考えて。はじめは練習がきつかったけど、今は慣れて楽しいです。

古川 私は中学の時テニス部だったけど、草むしりとかが多くておもしろくなくて、父から強いと聞かされてたアーチェリー部に入りました。

池田 私は、いところがアーチェリー部で試合のために色々な所に行くのがうらやましくて。  
(笑い) 入部したら、すぐに射たせてもらえたんですね。それがうれしかった。

加藤 私も姉がアーチェリー部で、弓や矢を見てカッコイイと思ったのが入部のきっかけです。

鷹尾 これで皆の話を聞いたので、次に全国大会の思い出を話しましょうよ。あのときはハラハラしましたねえ。

谷口 まず、予選！練習で600射ったことはなかったのに、試合で射ったのにびっくり！

玉井 柏陵に50mで30点差で負けたのに、ひっくり返したんですね。

鷹尾 こうして予選に勝ったので、先輩に顔向けできるとまず、ホッとしました。

玉井 でも、先輩たちは練習で1900出してたのに、私達は1875ベストしかいかなかった。

野村 皿倉合宿でずいぶん、よくなったのでは？

玉井 私は、練習中の点もよくなって、すごく焦った。

鷹尾 全国大会の前日、50mで300台をうって、それから私は調子がよくなった。

村上 私は、その時も全然うてなくて、どうしようかと思いました。

鷹尾 当日、近射をして、皆で歌をうたったよねえ。

谷口 それから足並そろえて走って、リラックスしたのがよかったんじゃない？

鷹尾 そう、そう。1回目からいきなり1位だったからね。そうしたら2位には負けられないぞという気になってきた。

野村 3位になったときは、もうダメかなと思ったけど、取り戻せた。7回くらいで、逆転して、ギリギリくらいだけど、勝ったんですね。

鷹尾 思いがけずというか…。練習の時に、点がよくなって、優勝なんてとても無理と思ったのが幸いしたのではないのでしょうか。で、私達はこうして思いもかけず優勝できたわけですが、普段の練習ではどうですか、きついこととかは？

玉井 点が出ないときが、きついですね。やめなくなったりするときもある。

村上 でもやっぱりアーチェリーは好きだから。よい点が出ると楽しくなるし、私は、友達の中でアーチェリー部のことを理解してくれない人があるのがつらい。

野村 そうね。アーチェリー部はいろいろな所に行けていいねとか言う人や、アーチェリー人口は少ないから、勝てるのは当たり前とか言う人もいます。

谷口 そういう見方をする人は、私がいくら説明してもわかってくれない。でも、がんばってねと応援してくれる友達ももちろん多いです。

鷹尾 話はだんだん、盛り上がってきましたが、では、全国大会で3回も勝てた秘密は何

でしょう？

野村 練習量かな？ずい分、うつ時間は多いもんね。それと、もちろん、先生の指導の仕方ですよ。

谷口 チームワークも大切だと思う。私達は、いつも和気藹藹と楽しく。それと先生からいつも言われる、「自分の点はチームの点、チームの点は自分の点」を考えてー。

玉井 何よりも、アーチェリーが好きだから、上手になったらうれしいし、勝ってもうれしい。

鷹尾 そうですね。この3年間を振り返ってみると「きつい、がんばった」という思い出じゃなく、「楽しかった」という思い出が多いですね。1年生もこれから、楽しく、がんばって下さいね。

1年生 はい。

いかがでしょうか？ 文章にすればなんだか固い感じですが、そのにぎやかだったこと。テープをそのまま再生したほうが…。「楽しく、がんばる」をはじめ私の語録もすっかり、いつのまにか、盗まれてしまっています。それと私が指示してやらせたつものことも「自分がやった」になって、ごちゃまぜ。これが折尾流かも知れません。

# 選手権大会 栄光の歩み

(第1～19回：1日制、第20回～：男女別2日制で実施)

回数	男・女	団体の部	個人の部
第1回大会		(68'8.10.大阪府・東大阪グランド)	
男子		浜松興誠高(静岡)1639.	稲川篤郎(浜松興誠高)577.
女子		同志社高(京都)1419.	布浦裕子(同志社高)503.
第2回大会		(69'8.10.静岡県・県営草薙運動場)	
男子		岸和田産業高(大阪)1689.	下向辰法(岸和田産高)573.
女子		同志社高(京都)1470.	布浦裕子(同志社高)529.
第3回大会		(70'8.9.東京都・駒沢第一球技場)	
男子		岸和田産業高(大阪)1606.	伊藤寿彦(岸和田産高)601.
女子		同志社高(京都)1505.	熊谷登美(同志社高)527.
第4回大会		(71'8.1.京都府・府立大グランド)	
男子		浜松工業高(静岡)1622.	亀井孝(同志社高)600.
女子		甲南女子高(兵庫)1493.	井上典子(同志社高)534.
第5回大会		(72'8.4.神奈川県・三ッ沢球技場)	
男子		横浜高(神奈川)1702.	角井和夫(広島工業高)583.
女子		浜松北高(静岡)1601.	辻紀子(甲南女子高)552.
第6回大会		(73'8.5.東京都・駒沢第一球技場)	
男子		愛知高(愛知)1764.	鈴木優(静岡三ヶ日高)621.
女子		同志社女子高(京都)1553.	辻紀子(甲南女子高)558.
第7回大会		(74'8.3.滋賀県・県営彦根総合運動場)	
男子		同志社高(京都)1707.	河内敏雄(同志社高)600.
女子		同志社女子高(京都)1644.	後藤有理子(同志社女高)573.
第8回大会		(75'8.3.愛知県・愛知学院大グランド)	
男子		大阪工業大高(大阪)1753.	梅内秀和(八戸工大第二)646.
女子		同志社高(京都)1586.	小里頼子(札幌啓成高)551.
第9回大会		(76'8.1.北海道・札幌真駒内アイスアリーナ)	
男子		三本木農業高(青森)1810.	市川松治(三本木農高)633.
女子		富士見高(静岡)1686.	佐野敦子(富士見高)592.
第10回大会		(77'7.31.宮城県・秋保森林スポーツ公園)	
男子		慶応義塾高(神奈川)1817.	神野浩(慶応義塾高)627.
女子		浜松商業高(静岡)1724.	松永弘子(富士見高)607.
第11回大会		(78'7.27.青森県・十和田市陸上競技場)	
男子		愛知高(愛知)1785.	山本博(横浜高)639.
女子		三本木農業高(青森)1641.	山内京子(浜松商業高)570.
第12回大会		(79'7.29.広島県・県営総合グランド)	
男子		浜松工業高(静岡)1836.	山本博(横浜高)630.
女子		山陽女子高(広島)1641.	大道理枝(山陽女子高)582.
第13回大会		(80'8.3.滋賀県・秦荘町民スポーツセンター)	
男子		横浜高(神奈川)1925.	山本博(横浜高)670.
女子		千葉英和高(千葉)1739.	大道理枝(山陽女子高)618.
第14回大会		(81'8.2.東京都・駒沢第二球技場)	
男子		名古屋電気高(愛知)1888.	岐部恭史(大阪工大高)640.
女子		大津商業高(滋賀)1794.	名倉裕子(浜松工業高)621.
第15回大会		(82'8.1.群馬県・川場中学校グランド)	
男子		丹南高(福井)1817.	薄井雅美(馬頭高)625.
女子		富士見高(静岡)1682.	平田さゆみ(札幌月寒高)598.



第16回大会 (83' 8. 7. 奈良県・三宅健民運動場) ㊦雷雨の為、団体・個人共に63射迄の記録		
男子	馬 頭 高 (栃 木) 1650.	池 田 辰 弥 (慶 応 義 塾 高) 571.
女子	大 津 商 業 高 (滋 賀) 1587.	岩 波 ひ ろ み (大 津 商 業 高) 543.
第17回大会 (84' 8. 5. 鳥取県・東郷湖羽合臨海公園スポーツ広場)		
男子	米 子 北 高 (鳥 取) 1904.	松 田 武 文 (米 子 北 高) 643.
女子	札 幌 啓 北 商 業 高 (北 海 道) 1816.	山 本 和 美 (札 幌 啓 北 商 高) 620.
第18回大会 (85' 8. 11. 山梨県・敷島総合公園運動場)		
男子	米 子 北 高 (鳥 取) 1889.	室 伏 優 一 郎 (横 浜 高) 650.
女子	大 津 商 業 高 (滋 賀) 1789.	児 玉 晶 子 (米 子 北 高) 648.
第19回大会 (86' 7. 27. 沖縄県・宜野湾市海浜公園多目的広場)		
男子	横 浜 高 (神 奈 川) 1787.	蓮 田 秋 二 (東 京 学 園 高) 629.
女子	札 幌 啓 北 商 業 高 (北 海 道) 1753.	中 込 恵 子 (甲 府 第 一 高) 612.
第20回大会 (87' 7. 25~26. 京都府・日吉胡麻総合運動広場)		
男子	三 本 木 農 業 高 (青 森) 1876.	鎌 田 芳 彰 (幕 別 高) 643.
女子	折 尾 高 (福 岡) 1775.	大 城 春 野 (宜 野 湾 高) 611.
第21回大会 (88' 7. 26~27. 北海道・旭川市)		
男子	北 大 津 高 (滋 賀) 1883.	吉 田 賢 (甲 府 第 一 高) 657.
女子	折 尾 高 (福 岡) 1881.	岩 山 美 保 (折 尾 高) 635.
第22回大会 (89' 7. 26. ~27. 福岡県・北九州市)		
男子	柏 陵 高 (福 岡) 1685.	山 本 敦 (永 谷 高) 603.
女子	旭 川 北 高 (北 海 道) 1802.	鈴 木 知 子 (桜 丘 高) 634.
第23回大会 (90' 7. 27. ~28. 石川県・柳田村)		
男子	柏 陵 高 (福 岡) 1917.	宮 本 雅 史 (柏 陵 高) 657.
女子	折 尾 高 (福 岡) 1796.	森 本 淳 子 (同 志 社 高) 626.
第24回大会 (91' 7. 27. ~28. 山形県・鶴岡市)		
男子		
女子		
第25回大会 (92' . . 香川県・財田、仲南町)		
男子		
女子		
平成5年度 全国高等学校総合体育大会 第26回大会 (93' 8. 1 ~ . . 県・ )		
男子		
女子		

# 大会記録

## [団体の部]

《男子》横 浜 高 (神奈川) 1925	┌	山本 博 670 (323.347)	・ 第13回大会
		白井 肇 628 (294.334)	
		足立 朋美 627 (299.328)	
《女子》折 尾 高 (北海道) 1881	┌	岩山 美保 635 (299.336)	・ 第21回大会
		坂田美穂子 624 (291.333)	
		岡部 由布 622 (290.332)	

## [個人の部]

### 《男子》

ハーフ・R	山本 博	670 (323.347)	神奈川・横浜高・第13回大会
50 M	山本 博	323	神奈川・横浜高・第13回大会
30 M	山本 博	347	神奈川・横浜高・第13回大会

### 《女子》

ハーフ・R	児玉 晶子	648 (310.338)	鳥 取・米子北高・第18回大会
50 M	児玉 晶子	310	鳥 取・米子北高・第18回大会
30 M	鈴木 知子	341	愛 知・桜ヶ丘高・第22回大会

# 高校記録

## [団体の部]

《男子》柏 陵 高 (福 岡) 1955	┌	光田 健 663 (321.342)	・ 平成2年県高校総体 (1990.6.3)
		西川 清一 646 (302.344)	
		宮永 雅史 646 (311.335)	
《女子》折 尾 高 (北海道) 1881	┌	岩山 美保 635 (299.336)	・ 第21回全国高校選手権 (1988.7.27)
		坂田美穂子 624 (291.333)	
		岡部 由布 622 (290.332)	

## [個人の部]

### 《男子》

ハーフ・R	山本 博	670 (323.347)	神奈川・横浜高・第13回全国高校選手権
50 M	鎌田 芳彰	325	北海道・幕 別 高・第42回山梨国体
30 M	田島 光浩	350	愛 知・愛 知 高・昭61年度県高校選手権

### 《女子》

ハーフ・R	佐野 裕江	651 (310.341)	静 岡・富 士 見 高・第39回国体地区予選
50 M	中込 恵子	316	山 梨・甲府第一高・第42階国体地区予選
30 M	岩波ひろみ	343	滋 賀・大津商業高・第38回国体地区予選

## 選抜大会 栄光の歩み

【男子】

回数	選手名	学校名	TOTAL	90m	70m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	河合徳之	浜松工	1199	246.	309.	306.	338.	'83.3.25-27	愛知・森林公園
2	角田信一	馬頭	1154	259.	277.	294.	324.	'84.3.25-27	静岡・富士見市
3	松田武文	米子北	1131	208.	288.	301.	334.	'85.3.25-27	滋賀・秦荘町
4	田中喜美夫	横浜	1198	265.	300.	294.	339.	'86.3.25-27	福井・芦原町
5	和田和則	馬頭	1174	234.	269.	307.	317.	1987.3.25-27	東京・駒沢
6	荒金利剛	米子北	1164	237.	282.	318.	327.	'88.3.25-27	大阪・岸和田市
7	於久直人	北大津	1250	273.	319.	315.	343.	'89.3.25-27	神奈川・横浜市
8	赤井雅宏	北大津	1200	252.	307.	306.	335.	'90.3.25-27	兵庫・神戸市
9	田中勝美	横浜	1214	277.	321.	291.	322.	'91.3.26-28	愛知・愛学院大

【大会記録】

TOTAL	於久直人	北大津	1250	273.	319.	315.	343.	'89.3.25-27	神奈川・横浜市
90m	田中勝美	横浜	277	第9回選抜大会			'91.3.26-28	愛知・愛学院大	
70m	田中勝美	横浜	321	第9回選抜大会			'91.3.26-28	愛知・愛学院大	
50m	荒金利剛	米子北	318	第6回選抜大会			'88.3.25-27	大阪・岸和田市	
30m	於久直人	北大津	343	第7回選抜大会			'89.3.25-27	神奈川・横浜市	

【女子】

回数	選手名	学校名	TOTAL	70m	60m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	上鹿渡由美	北海道清水	1183	285.	303.	270.	325.	'83.3.25-27	愛知・森林公園
2	田中志律	千葉英和	1124	257.	268.	274.	325.	'84.3.25-27	静岡・富士見市
3	藤本正美	大津商業	1195	265.	299.	296.	335.	'85.3.25-27	滋賀・秦荘町
4	大城春野	宜野湾	1153	276.	286.	272.	319.	'86.3.25-27	福井・芦原町
5	松宮真由美	丹南	1207	283.	299.	306.	319.	'87.3.25-27	東京・駒沢
6	近藤真弓	信愛学園	1216	287.	312.	292.	325.	'88.3.25-27	大阪・岸和田市
7	小山美代子	兔道	1237	291.	314.	304.	328.	'89.3.25-27	神奈川・横浜市
8	高木祐子	富士見高	1177	263.	289.	305.	320.	'90.3.25-27	兵庫・神戸市
9	谷口和子	折尾	1214	288.	316.	280.	330.	'91.3.26-28	愛知・愛学院大

【大会記録】

TOTAL	小山美代子	兔道	1237	291.	314.	304.	328.	'89.3.25-27	神奈川・横浜市
70m	長見みどり	山陽女子	296	第7回選抜大会			'89.3.25-27	神奈川・横浜市	
60m	池田敦美	天真学園	316	第7回選抜大会			'89.3.25-27	神奈川・横浜市	
50m	松宮真由美	丹南	306	第5回選抜大会			'87.3.25-27	東京・駒沢	
30m	森山靖子	折尾	337	第7回選抜大会			'89.3.25-27	神奈川・横浜市	

# 日本高校記録

(FITA ROUND)

平成2年12月31日現在  
全国高体連アーチェリー専門部

〈男子〉

種別	選手名	学校名・府県名	記録	大会名	樹立年月日	会場地名
シングル	大橋 亨	東京工業高・東京	1 2 8 9 (296 323 320 350)	89年東京都秋季大会	89.10.8	東京・世田谷区
90M	西川 清一	柏陵高・福岡	2 9 8	90年福岡県春季大会	90.5.6	福岡・福岡市
70M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 2 3	89年東京都秋季大会	89.10.8	東京・世田谷区
50M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 2 0	89年東京都秋季大会	89.10.8	東京・世田谷区
30M	大橋 亨	東京工業高・東京	3 5 0	89年東京都秋季大会	85.10.8	東京・世田谷区
ハーフ	山本 博	横浜高・神奈川	6 7 0 (323 347)	第13回全国高校選手権	80.8.3	滋賀・秦荘町
50M	鎌田芳彰	幕別高・北海道	3 2 5	第41回「かいじ」国体	86.10.14	山梨・敷島町
30M	田島光浩	愛知高・愛知	3 5 0	第41回国体地区予選	86.8.30	岐阜・関市
ハーフ 団体	光田 健 西川清一 富永雅史	柏陵・福岡	1 9 5 5	90年福岡県高校総体	90.6.3	福岡・福岡市
ダブル (参考)	松田武文	倉吉農高・鳥取	2 4 5 0 1226 1224	第27回全日本選手権	85.11.09-10	山梨・敷島町

〈女子〉

種別	選手名	学校名・府県名	記録	大会名	樹立年月日	会場地名
シングル	児玉晶子	米子北高・鳥取	1 2 7 5 (305 323 308 339)	第27回全日本選手権	85.11.9	山梨・敷島町
70M	村川かおり	札幌啓北高高・北海道	3 0 9	第27回全日本選手権	85.11.9	山梨・敷島町
60M	長見みどり	山陽女子高・広島	3 2 5	89年全米選手権	89.8.9	USA・オハイオ
50M	坂田美穂子	折尾高・福岡	3 1 3	87年高校選抜予選	87.10.18	福岡・折尾高
30M	井上鹿代子	富士見高・静岡	3 4 8	89年地区大会	89.6.11	静岡・田方郡
ハーフ	井上鹿代子	富士見高・静岡	6 5 3 (316 337)	89年静岡県高校総体	89.6.4	静岡・天竜市
50M	宮岸かおり	札幌啓北高・北海道	3 2 0	第44回国体地区予選	89.8.4	北海道・旭川市
30M	岩波ひろみ	大津商高・滋賀	3 4 3	第38回国体地区予選	83.8.21	奈良・奈良市
ハーフ 団体	岩山美保 306.339 岡部由布 299.330 羽広智美 285.340	折尾高・福岡	1 8 9 9	88年福岡県高校総体	88.6.5	福岡・福岡市
ダブル (参考)	児玉晶子	米子北高・鳥取	2 5 3 7 (1275 1262)	第27回全日本選手権	85.11.9~10	山梨・敷島町

※ \*印は該当年度の記録であり、12月31日を以って正式に公認されます。

## 大会開催地・開催順(予定)

和 暦	西暦	全国高校選手権	全国高校選抜大会	国民体育大会
平成3年	91	山形県 鶴岡市	京都府	石川県 柳田村
平成4年	92	香川県財田・仲南町	静岡県	山形県 鶴岡市
平成5年	93	栃木県 IHに参加	滋賀県	香川県 二町会場
平成6年	94	富山県 IHに参加		愛知県岡崎市
平成7年	95	西地区		福島県三春町
平成8年	96	東地区		広島県
平成9年	97	中地区		大阪府
平成10年	98	西地区		神奈川県
平成11年	99	東地区		熊本県
平成12年	2000	中地区		富山県
平成13年	01	西地区		

## 改正変更(予定)事項

### 1. IH参加時の競技規則の変更(予定案)

競技：①シングル・R

②選手3＋補欠1人(出場選手変更可. 監督会議まで)

③予選・準決・決勝方式(予選通過＝団体12チーム. 個人16人. 男女別)

日数：4日間. 1日目 監督会議. 公式練習. 開始式。

2・3日目 男女別各予選。

4日目 男女準決勝。

5日目 男女決勝. 閉会式。

### 2. 選抜大会参加人員(各県枠)の設定

学校登録数・選手登録数は、登録期日の5月末日で算定。

# 記録収集について

## 競技委員会

記録収集の意義につきましては組織の歴史であり、同時に将来的な発展の最も大きな源動力となるべきものであります。競技力の向上、組織の活性化、競技の普及拡大、すべてこの記録無しには考えられません。つきましては記録送付及び記入要領は下記の要領でお願いします。

- 【1】送付記録は原則としてコンピュータデータの形式とする。
- 【2】種別、種目、項目は従来通りとする。
- 【3】各都道府県で【2】の2種別、6種目について競技者のランキングを作成し、そのデータを送付する。
- 【4】送付用フロッピーディスクは競技委員会記録部より配布するので、その中に入力する。
- 【5】記録送付競技会
  - (1) 都道府県高等学校体育連盟主催の競技会
  - (2) 全ア連主催あるいは各県公認競技会・予選会

## データ入力上の注意

- 【1】各項目のセル幅について
  - (1) セルを移動すると画面左上にセル番地と共に数字が出ますが、これは設定されたセル幅です。出ないのは標準のセル幅（半角10）です。
  - (2) セル幅の変更はしないで下さい。
- 【2】各項目への入力について
  - (1) 順位  
各県単位の順位はつけても良いが、送付用は消去して下さい。
  - (2) 氏名  
全角左詰めとします。（全角6文字）

例	氏2文字	名2文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	氏2文字	名1文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	氏1文字	名2文字	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	氏3文字	名3文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	氏3文字	名1文字	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
  - (3) 所属県名  
全角左詰め文字入力とします。（全角3文字）

都・府・県の文字はいりません。

(4) 登録番号

左詰めで、半角数字（文字）入力します。（半角9文字）

例 25H015005

42H021001

(5) 学校番号

左詰めで、半角数字（文字）入力します。（半角5文字）

例 40H01

11H04

(6) 学校名

全角左詰めとします。ハーフ・シングル（半角10）、団体（半角11）5文字内で入力します。学校名の後に高校・高の文字は5文字以内ならば、つけて下さい。

(7) 学年

半角、数値入力とします。

(8) 合計

各種目の距離別小計は数値入力とします。

種目の合計欄には計算式が書き込まれている筈ですから、各距離得点へ入力して下さい。

団体は必ずチームの1位・2位・3位の順に左から入力して下さい。

（団体順位のソートは団体合計・1位得点・2位得点の順に実行します）

(9) 日時

日時は半角数字（文字）入力します。年は不要です。

例 08/03

11/03

10/10

(10) 競技会名

全角5文字位で入力して下さい。

例 長崎県民体育大会……長崎県体又は県体

(11) 会場名

全角入力とします。（全角6文字）

セル幅は全角6文字に設定しています。これを越えても入力是可以ですが、長過ぎると製本時に切れることがあります。

開催された県名／会場地名を入力します。（／を間に入れて下さい）

例 埼玉／上尾橘

大分／狭間町

グラウンド等はGで省略して下さい。

例 田布施高校グラウンド……田布施高校G

【3】得点記録集計のディスクについて

- (1) LOTUS-123 R2.1JまたはR2.2Jで作成されたデータとする。
- (2) ディスクは原則として3.5” (2DD.HD)を使用するが、5” (2HD)でも良い。
- (3) ディスクは必ずコピーディスクにラベルをつけ、県名・入力責任者名・住所を記入して送付する。

【4】送付先及び締切期日

送付先 ☎856 長崎県大村市森園町1079-3  
長崎県立大村工業高等学校  
機械科 大塚 敬輔 宛

TEL 0957 52-3772・3773 内線45

FAX 0957 52-3773

締切期日 当該年度の12月20日 (必着)

遅れると製本期日の都合上記載されない場合があります。

問合わせ 質問・問合わせは上記住所・電話番号へお願いします。



# 高校公認記録規程

- 第1条 全日本アーチェリー連盟（以下「全ア連」という。）規約第11章第136～143条にもとづき、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「本専門部」という。）規約第8章第11条第3項により競技記録公認規定をこれにより定める。
- 第2条 本専門部の加盟・登録者が、この規定の定めるところにより、その加盟学校および登録構成員が、以下にかかげる諸条項のもとに行われた競技会において作られた記録に限り公認申請することができる。
- 第3条 日本高校記録は、全ア連競技規則第137条の外、次の条件を満たすこと。
- 1) 当該年の4月1日現在18歳未満の高校生の記録であること。ただし、定時制生徒は19歳未満とする。
  - 2) (1)全ア連が公認した競技会における記録。
    - (2)各都道府県単位または地域高校競技会の記録。

ただし、印刷したプログラムがあり、競技委員長・審判長・射場長は公認審判員であること。
    - (3)ハーフラウンド及びハーフラウンド団体の記録は、ハーフラウンドの競技会の記録であること。
- 第4条 前条にかかげる競技会には、次に定める諸条件が具備されていなければならない。
- 1) 各都道府県高体連に学校加盟し、本専門部に加盟・登録していること。
  - 2) 団体の記録は同一学校、同一課程の編成であること。
  - 3) インター・ハイ本大会に準じた、相互得点記録方法であること。
- 第5条 個人の距離別の記録公認については、第3条に規定された競技会において樹立されたものを申請することができる。
- 第6条 前条に定める競技会の記録公認申請は、競技の日より原則として1カ月以内に主催または主管団体長が前条の確認をなし、全ア連所定の記録承認申請書（本専門部様式-6）に必要事項を記載し、全ア連事務局に提出するものとする。
- 第7条 全ア連理事会で審査の結果、新記録として承認されたときは、その旨を本専門部においても発表し、高等学校記録証を交付する。
- 第8条 毎年12月10日付をもって、各都道府県高体連ア専門部または各都道府県ア協会は

第3条に定めた競技会に於ける当該都道府県の高等学校最高記録を保管し、その写しを毎年12月20日までに本専門部事務局まで送付しなければならない。

第9条 本規定は、本専門部委員会において改廃する。

第10条 本規定は昭和57年5月9日より施行する。

昭和60年4月1日一部改正

昭和63年2月11日一部改正

申請書送付先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内 全日本アーチェリー連盟 宛

平成 年 月 日

全日本アーチェリー連盟

会 長 安 倍 晋太郎殿

主 催 者 名

主 管 団 体 名

会 長 名

印

## 新記録の樹立承認申請書の送付について (申 請)

標記のことについて、下記の通り新しい記録が樹立されましたので、  
ここに関係書類を添えて申請いたします。

なお、関係書類の到着のうへは、書類内容の点検をいただくとともに  
念のため受領確認書を送付くださるようお願いいたします。

記

1. 内容記録：記録申請
2. 送付書類：ア) 記録承認申請書…………… 1 部  
イ) スコアシート (写) …… 1 部  
ウ) 競技会プログラム…………… 1 部  
エ) 競技会成績表…………… 1 部

以 上

受 領 確 認	全	受付月日： 月 日
	日	
ア 連	ア	確認者：
	連	氏 名： <span style="float: right;">印</span>

(上記記入のうへ、複写書類を返送下さい)

### 記録承認申請書

下記の通り新記録が樹立されましたので、ここに承認申請をいたします。

申請内容		日本記録		日本高校記録		日本国際記録		
競技会名	第 回							
期 日	平成 年 月 日～ 月 日。( 日間)							
会 場								
区分・種別		団 体		個 人		男 子		女 子
種目・距離		ハーフ・R		シングル・R		ダブル・R		グランド・R
		個人TOTAL		個人距離	90. 70. 60. 50. 30.m			
競技者名	(学校・所属名)		①氏名:		登録番号	H	-	
			②氏名:		登録番号	H	-	
			③氏名:		登録番号	H	-	
記録内容	団体記録	合計: _____点						
		① _____点 (50m: _____点・30m: _____点)						
		② _____点 (50m: _____点・30m: _____点)						
	③ _____点 (50m: _____点・30m: _____点)							
個人記録	_____点 ( _____, _____, _____点)							
距離記録	_____m: _____点 ( _____点・ _____点)							
	_____m: _____点 ( _____点・ _____点)							
競技会責任者	競技委員長または審判長の署名・捺印						印	
備 考	<p>1. 申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。</p> <p>2. 添付種類は、①スコアシートへの写し(コピー可)、 ②競技会プログラム、 ③競技会成績一覧表、を提出すること。</p> <p>3. 未登録の場合、記録樹立後の競技者登録および承認申請書の提出は、いかなる理由があっても認められない。</p>							

## 服装規定について

競技部 競技委員会 細則  
昭和62年2月11日改定

### [服装等に関する規定]

1. 選手およびマネージャーのユニホームは、帽子・上衣・下衣・靴下・靴にいたる、全ての装着品が、完全にチーム内で統一されていること。

### 2. 競技用服装

ア) 上衣 学校名または学校をあらわすマークおよび所属の都道府県名を明記すること。

イ) 下衣 白スラックスまたは白スカートとする。

これら製品の全体（部分的な装飾・デザインを含む）が白色の範囲で、競技スポーツの機能を適合するフォーマルなスラックスまたはスカートとする。（下記に示す部分の異色装飾および、商品（製品）名については、その使用を一切認めない。）

#### [部分的な装飾]

a. ライン・ステッチ・ポケット部分の縁取り等。

b. ベルトレス部分の白色以外のライン・テープ等。

#### [白ジーパン・綿パン]

ウ) 帽子等 帽子・ヘアバンド・はち巻きは、白地のものとする。

エ) 靴 靴は、アップシューズ型の運動シューズとする。

### [服装検査の解釈と取扱基準] の範囲

1. 帽子等 色……………白色または白色系統を基調にしたもの。

型……………野球帽、テラピンチ、チュウリップハット。

（サンバイザー、ヘアバンド、ハチ巻き等は使用可）

装飾……………教育活動に相応しい範囲のもの。

（全体または一部に縁取り・デザインテープは使用可）

#### [使用不可]

1) 教育活動の場や機能として相応しくないもの。

2) 誇大な商標、商品名、メーカー名等の宣伝に資するもの。

2. 上衣 色……………同一の色彩・色調で統一されたもの。

(経年による自然脱色変化…使用可)

型……同一の形態で統一されたもの。

(半袖・長袖を問わず、使用時は一方に統一のこと。)

(半袖時の長いアンダーウェア…使用可)

素材……同一の使用素材で統一されたもの。

表示……都道府県、学校名または校章を統一表示のこと。

(名称は邦字・ローマ字のいずれかで表記のこと)

[使用不可]

- 1) 教育活動の場に相応しくないもの。
- 2) 校章以外のマーク。(例：マスコットマーク・アプリケ等)
- 3) 誇大な商標、ワンポイントマーク等。基準：3 cm<sup>2</sup>程度以)
- 4) デザイン・名称表示(県名・校名・マーク)の不均質な差異。

3. 下衣 色……純白～白色の範囲内であること。

(使用頻度による耐用変色の範囲 …………… 使用可)

(織布自体のアイボリー・クリーム色 …………… 不許可)

内容……スラックスまたはスカートで統一されること。

(フォーマルなスポーツ・スラックスのみ …………… 使用可)

型……形態的な統一と、競技スポーツ全般に使用可能のもの。

(同一メーカーの同素材・同デザインのみ …………… 使用可)

装飾……全体・一部のアクセント・ポイントとしての飾り等

(ベルトレス・ステッチ、ポケット縁取り)であっても純白～白色の範囲内であること。

[使用不可]

- 1) 教育活動の場に相応しくないもの。  
(例：遊び着・タウン着・私服に類するもの)
- 2) 誇大な商標、ワンポイントマーク。(基準：3 cm<sup>2</sup>程度以上)
- 3) 同一メーカーの同品番であっても、購入年度差による全体的な形態的・デザインの差異。または、チーム内のメーカー間差異。  
(チーム内の統一とはみなさない。)

- 4) 純白～白色の範囲以外のベルトレス、ステッチ、ポケット縁取り等の装飾および装飾アクセント類に属するもの。
  - 5) 素材、織布自体のアイボリー・クリーム色類の色調。
  - 6) 綿パン、ジーパン、キュロットスカートまたはレジャー着等。
4. 靴 下 半・長ソックスも白色で統一のスポーツソックスであること。  
(最小限のライン・ワンポイントマーク…使用可)
5. 靴 内容…スポーツシューズ(布または皮革製のゴム底)  
型……アップシューズ型(紐等で幾重にも締上げ可能なもの)
- [使用不可]

1) カジュアル、ダンス・半バス・タウン・編みあげ型等のレジャーまたはタウンシューズ類に属するもの。

6. その他(防水・防寒衣類)

: 防寒・防水については、現行は規定せず。

[規定の適応と指導遵守]

各都道府県における競技会時には、各学校顧問の指導によって上記の服装規定の認識と適応・遵守を選手に義務付け、各地域大会および全国大会時の府県間格差の解消に努めるとともに、各県毎に永続的な指導を図ること。

上記の規定範囲外の運用は、教育活動の一環と全体の流れに照らした判断指導処置を、各都道府県の競技会実施責任者の裁定に委ねる。

## 大会実施要項に記載すべき内容（各都道府県内大会）

1. 大会名……ア. 平成〇〇年度、第〇〇回  
イ. 大会名（兼.第1次予選、第2次予選、最終予選）
2. 期 日……ア. 平成〇〇年〇月〇〇日（ ）～〇月〇〇日（ ）  
イ. 平成〇〇年〇月〇〇日（ ）開始 時 分～
3. 場 所……ア. 〇〇高等学校グラウンド.（TEL — — ）
4. 主 催……ア. 〇〇県教育委員会、〇〇市教育委員会  
イ. 〇〇県高等学校体育連盟
5. 主 管……ア. 〇〇県高等学校体育連盟アーチェリー専門部  
イ. 〇〇県高等学校アーチェリー連盟
6. 日 程……ア. 開会式、競技開始、競技終了、表彰式（時間明示）
7. 参加資格……1) 全日本アーチェリー連盟ならびに全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部に生徒会員登録する高等学校生であること。  
2) 学校長の出場許可があり、当該高等学校教員が引率してくること。  
3) 年齢は、4月2日を起算日とし19才未満の生徒とする。  
4) チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
8. 参加制限……1) 参加制限内容の明示  
2) “  
3) 参加申込み後のメンバー変更は認めない。
9. 競技規定……平成〇〇年度、全日本アーチェリー連盟「標的競技規則」および大会運営規定を適応する。
  - 1) 競技種目
    - a. FITA〇〇〇〇ラウンド競技とし、学校対抗・個人戦を実施する。
    - b. 学校対抗（団体の部）は、各校上位3名の得点を合計し成績決定する。
    - c. 学校対抗の部に出場する選手の得点は、個人の部の成績を兼ねる。
  - 2) 競技方法
    - a. 各距離とも1標的1名で、A・B・Cの3立制で実施する。
    - b. 試射は、ABC、ABCの3射×12回の6射以内を最長距離で実施する。
    - c. 行射はABC/CAB/BCAの順で、3射毎に得点記録・矢



取りを繰り返す。

### 3) 得点記録方法

得点記録は、同一標的を使用する全選手で行う。ただし、的中得点の自己申告ならびに自己記入は、全て失格矢の取扱いとし得点を認めない。

- a. 的中する矢の得点判読と記入は、その矢を所有する競技者以外の者が全てを呼称し、同標的を使用する他の競技者がシートに記録を記入する。
- b. 同標的を使用する全競技者が、相互にローテーションして的中得点の呼称とシート記入の確認者となって、得点記録を実施する。
- c. 得点判読・誤記入等で疑義がある場合には、審判員の判断をおおきその判定を最終のものとする。

10. 服装規定…… 開・閉会式および競技中の服装は、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が制定する服装規定の通りとする。

11. 表 彰

12. 参加費用

13. 連絡事項

14. その他

## プログラム作成の基準について

### I. 目 的

各県が作成するプログラムの記載内容を統一するとともに、相互の連携を以て組織の充実と地域編成を推し進めるため、この基準を定める。

### II. 対 象

加盟各都道府県の高等学校生徒を対象とする競技会プログラムとし、出来るかぎり速やかに対応すること。

### III. 作成基準（次の通りとする。）

#### 1. 内 容

県内における高等学校アーチェリー競技会に相応しい掲載内容とする。

（広告は努めて掲載しないことが望ましい。）

#### 2. 規 格 等

ア) 規 格 B-5判サイズ、紙質：中質紙

イ) 様 式 横書き（縦左とじ：右山折り返し）

ウ) 書 式 手書き・タイプ印刷等

### IV. 掲載内容等（次のとおりとする。）

#### ① [おもて 表紙]

1) 大会名

2) 期日・会場名

3) 主催・主管

4) 参加校数

5) 大会・競技役目

#### ② [表紙みかえし] = (表紙裏)

1) 競技日程

2) 式典次第

3) 参加校顧問名・出場選手数一覧表（男女別）

#### ③ [掲載内容等の順]

1) 栄光のあゆみ（過去の成績）…… P. 1

2) 大会記録・県高校記録

3) 参加資格・制限…………… P. 2

4) 競技規定

ア. 競技種目

イ. 競技方法

ウ. 得点記録の方法

④立順組合せ一覧表（男女別）…………… P. 3～

⑤成績表…………… P. 3最終頁

（作成にあたっては、以下を参照のこと。）

① [表紙]

大会名

平成 年度  
 ○○県高等学校□□アーチェリー競技会  
 (兼. 全国高等学校選手権△△予選会)

□□…春季・秋季・県民  
 △△…1次・2次・最終

期 日 平成○○年○月○○日 ( ) ~ ○月○○日 ( )  
 会 場 名 ○○高等学校グラウンド (○○市民アーチェリー射場)  
 主 催 ○○県教育委員会 ○○県高等学校体育連盟  
 後 援 上部団体 (県教委・県高体連の指導に従うこと)  
 主 管 ○○県高等学校体育連盟アーチェリー専門部  
 参加校数 男 子 ○○校 ○○○名  
 女 子 ○○校 ○○○名

大会役員

大会会長 (高体連会長 or 協会会長)  
 大会副会長 (高体連副会長 or 協会副会長)  
 大会委員長 (専門部部長 or 協会理事長)  
 大会委員 (専門部副部长 or 協会副理事長)

競技役員

競技委員会 (専門委員長)  
 競技副委員会 (専門副委員長)  
 総 務・式典表彰・広報係・救護係  
 審判長・審判員  
 射場長・計時係・計測係・会場係  
 本部記録・記録係

・記録通報 (本連盟へ競技会記録を報告する責任者)

② [表紙みかえし]

競技日程 ○月○○日 ( )  
 開 会 式 ○○時○○分～  
 競技開始 ○○時○○分～ (学校対抗) (個人戦)  
 競技終了 ○○時○○分  
 閉 会 式 ○○時○○分～

式典次第

[開会式] 選手集合・整列 1. 開会宣言 2. 優勝杯返還 3. 大会会長挨拶 4. 審判長注意 5. 選手宣誓 6. 閉式通告 選手退場・解散	[閉会式] 選手集合・整列 1. 開式通告 2. 成績発表 3. 表彰 4. 審判長講評 5. 大会会長挨拶 6. 閉式通告 選手退場・解散
---	--

参加校の顧問名・出場選手数一覧表（男・女別計）…参考様式

学校名	男子		女子		合計		顧問名
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	

③ [過去の成績] (各年度・回数別に) 参考様式

男女別 団体 優勝校名・記録 [得点合計 (上位3人の得点内訳)]

” 個人 優勝者名・記録 [得点合計 (50m・30mの得点内訳)]

年	回	性	団体	個人
**	1	男	○ ○ 高1930 (660.640.630)	○○○○ (* * 高) 650 (610.640)
		女	◇ ◇ 商高1870 (630.630.610)	◇◇◇◇ (+ + 高) 640 (610.630)
++	2	男		
		女		
++	3	男		
		女		

④ [大会記録]

[団体男子]

○ ○ 高 1930 (第○○回大会)   
 ◇◇ ◇◇660 (320.340)   
 □□ □□640 (310.330)   
 △△ △△630 (315.315)

[団体女子]

○ ○ 高 1870 (第○○回大会)   
 ◇◇ ◇◇635 (310.325)   
 □□ □□620 (300.320)   
 △△ △△615 (300.315)

[個人男子]

△△ △△ (□□高) 645 (310, 335)

(第〇〇回大会)

[個人女子]

△△ △△ (□□高) 635 (310, 325)

(第〇〇回大会)

県高校記録

[団体男子]

◇◇ 高 1931	}	◇◇ ◇◇651 (320, 331)
		□□ □□645 (315, 330)
		△△ △△635 (315, 320)

(第〇〇回大会)

[団体女子]

◇◇ 高 1880	}	◇◇ ◇◇630 (310, 320)
		□□ □□635 (310, 325)
		△△ △△615 (305, 310)

(第〇〇回大会)

[個人男子]

〇〇 〇〇 (◇◇高) 680 (330, 350)

(第〇〇回大会)

[個人女子]

〇〇 〇〇 (◇◇高) 650 (310, 340)

(第〇〇回大会)

⑤ [参加資格]

- 1) 高等学校に在籍する生徒で、平成 年度「全日本アーチェリー連盟」に生徒競技者登録を完了したものであること。
- 2) 年齢は4月2日を起算し、18才未満の生徒とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。

参加制限

⑥ [競技規定]

平成〇〇年度、全日本アーチェリー連盟「標的競技規則」および大会運営規定を適用する。

1. 競技種目

- 1) FITAハーフ・ラウンド競技とし、学校対抗・個人の部を実施する。
- 2) 学校対抗(団体)の部は、各校上位3名の得点を合計し成績決定する。
- 3) 学校対抗の部に出場する選手の得点は、個人の部の成績を兼ねる。

2. 競技方法

- 1) 各距離とも1標的1名で、A・B・Cの3立制で実施する。
- 2) 試射は、ABC・ABCの3射×2回の6射以内を最長距離で実施する。

3) 行射の順序は、各距離ともABC矢取り、CAB矢取り、BCA矢取りの順とし  
3射毎に得点記録、矢取りを繰り返し行う。

4) 立ち遅れ、立ち残りは指導警告とし、度重なる警告は失格処置とする。

### 3. 記録方法

得点記録は、同一標的を使用する全選手で行う。ただし、的中得点の自己申告な  
らびに自己記入は、全て失格矢の取扱としこの得点を認めない。

\* 大会実施時の要領（参考表記）

① 的中する矢の得点帯の判読と記録記入は、その矢を所有する競技者以外の者が  
全てを呼称（判読）し、同標的を使用する他の競技者が高得点が高得点から順に、  
スコアシートに記録を記入する。

（例：ゼッケンAの選手は、ゼッケンBの選手の的中矢の得点を判読し、ゼッケン  
Cの選手が、スコアシートへ記録記入を行う。）

② 同標的を使用する全競技者が相互にローテーションし、的中得点の呼称とスコ  
アシートの記入と確認を行って得点記録を実施する。

③ 標的の的中孔×又はL印は、使用する選手側で記入を実施すること。

### 4. 服装規定

開・閉会式および競技会ともに、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部が制  
定する服装規定の範囲とする。

### ⑦ [立順組合せ] 一覧表（男女別）…参考様式

（男子の部）

校 名	ゼッケン NO	選 手 名	学 年	得 点		個 人		団体合計 (順位)
				50m	30m	合 計	位	
○ ○ ○ 高 校	1-A							_____ (順 位) _____
	2-A							
	3-A							
	4-A							
△ △ 工 高 校	1-B							_____ (順 位) _____
	2-B							
	3-B							
	4-B							

⑧ [成績表]

第〇〇回 高等学校〇〇アーチェリー競技会  
成 績 表

91. . . .

[団体男子]

於：◇◇高校

順位	学 校 名	得 点	得 点 内 訳			
			選 手 名	50m	30m	TOTAL
1						

3						

[個人男子]

順位	選 手 名	学年	学 校 名	得 点 内 訳		
				50m	30m	TOTAL
1						
2						
3						

その他事項

- 1) 既に加盟する高体連が、プログラムの作成を規定する場合には、その規定を優先し指示事項に従うものとする。ただし、上記に規定する項目・内容等を順不同であっても網羅記載すること。
- 2) 未だプログラムの作成基準を定めないその他の都道府県においては、上記に記載する項目・内容順にプログラムを編集作成すること。

注意事項

- 1) 大会の主催・後援等の共催申請は、早目に関係機関・団体に申請し、編集製作時には共催名義の了解を得ておくこと。
- 2) 大会役目・競技役員の委嘱は早目に作成し、各役員の所属する勤務先の直属上司宛に、2週間前までには発送し依頼しておくこと。

## 連絡先および口座番号

### 1. 事務局

(登録担当)

雨宮 健次郎 〒153 東京都目黒区駒場1-35-32 東京工業高校内  
TEL 03-3467-2130  
FAX 03-3467-2138

### 2. 競技部

(記録登録)

○大塚 敬輔 〒856 長崎県大村市森園町1079-3  
県立大村工業高校機械化内  
TEL 0957-52-3773 内線45  
FAX 0957-52-3773

### 3. 口座番号

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局の口座

(銀行名) 住友銀行渋谷支店 (店番234)  
(預金種目・口座番号) 普通 6860  
(口座・代表者名) 東京工業高等学校 全高連ア専門部 雨宮 健次郎

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部総務の口座

(銀行名) 東海銀行覚王山支店 (店番) 264  
(預金種目・口座番号) 普通: 161-215  
(口座・代表者名) 全国高校アーチェリー 田中 康彦

### 4. 斡旋物資申し込み先

〒491 愛知県一宮市丹陽町九日市場字下田11番地2  
ミズノ株式会社 名古屋営業所  
第一事業部 川西雄二、中島康善  
TEL 0586-77-8161  
FAX 0586-77-8117



## あ と が き と 雑 感

会報の第5号をお届け出来ますことをうれしく思います。

今年も、加盟校の増加や記録の更新があり、高校アーチェリーの着実な進展がみられました。

ところで、昨年度の登録者5,095名の中にはいろんな高校生がいることでしょう。地区予選や、全国大会で優勝を手にした人、後輩の指導がうまい人、成績を抜きにしてアーチェリーを楽しんだ人、マネージャーとして選手の裏方となった人など。

私の学校にN君という男子生徒がいました。県内外の練習試合や大会、合宿等、3年生の6月までは一生懸命に活動しました。しかし、全国大会には行けずじまいでした。宿敵の丹南高校には遂に勝てなくて、2位どまりでいつも悔しい思いをしていました。しかし、彼はアーチェリーが大好きでした。彼は、文武両道の言葉のごとく今年の3月現役で東大文Iに合格しました。青白い秀才では有りません。彼ほどアーチェリーを好み、ひたむきに日々練習に励んでいた者もそんなにはいませんでした。彼は3年間アーチェリーを通して多くの仲間と出会い、そして汗を流しました。「アーチェリーをやっていなかったら、合格はありえなかったかもしれません」と言って卒業して行きました。全国の数多くの高校生、目指すものはそれぞれ異なってはいるでしょうが、みんなアーチェリーが大好きです。素晴らしいスポーツだと思います。今後も教育の一環としてアーチェリーを通して、生徒と接して行こうと思っている昨今です。

さて、雑感が長くなりましたが、次号に向けて皆様方の多数のご投稿、ご意見をお寄せ頂きますので、充実した会報にしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

(吉田)

発行日 平成3年5月

編集 総務委員会

発行所 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

事務局 〒153 東京都目黒区駒場1-35-32

東京工業高等学校内(TEL03-467-2131)

印刷所 (株)シバタプロセス印刷

〒526 長浜市神照町499-1

TEL (0749) 63-6860(代)





**Mizuno**  
THE WORLD OF SPORTS



**確実なグリップを生む本格派。**

〈ランバード〉アーチェリーシューズ  
36KA-8250 ¥10,000

- 甲/人工皮革(クラリーノエフ) ●底/VCRラバーソール
- 製法/セメント式 ●サイズ/22.0~28.0

芝のグラウンドでもグリップ性、ストップ性を発揮するVCR配合ラバーソールを採用。  
アッパーにはソフトで足あたりが良く、耐久性・耐水性にすぐれた人工皮革(クラリーノエフ)を採用。

ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は「ミズノお客様相談センターMUSIC」 ●東京 TEL.(03)233-7110 ●大阪 TEL.(06)454-5001

**RunBird**  
ATHLETIC FOOTWEAR

